日本の
ひなた
宮崎県

Miyazaki Prefecture Specialized Training Guidebook

宮崎県専門研修プログラムガイドブック

2024

みやざきではじめよう！

宮崎県専門研修プログラムガイドブック

Miyazaki Prefecture Specialized Training Guidebook

宮崎県には９つの専門研修基幹施設に合わせて34の特色ある専門研修プログラムが設置されています

CONTENTS

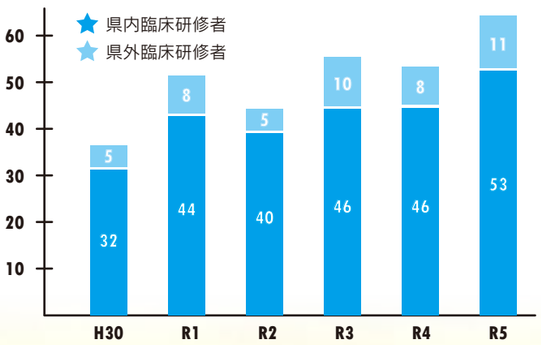
目次・宮崎県の紹介 ・・・・・・・・ P.01-02
専門研修基幹施設の紹介 ・・・・・ P.03-04
基幹施設・連携施設一覧 ・・・・・ P.05-06
基幹施設の身分及び処遇 ・・・・・・・ P.07
宮崎で専攻医になろう！ ・・・・・・・ P.08
各専門研修プログラムの紹介 ・・ P.09-41
県の取組紹介 ・・・・・・・・・・・・・・ P.42

みやざきではじめよう！

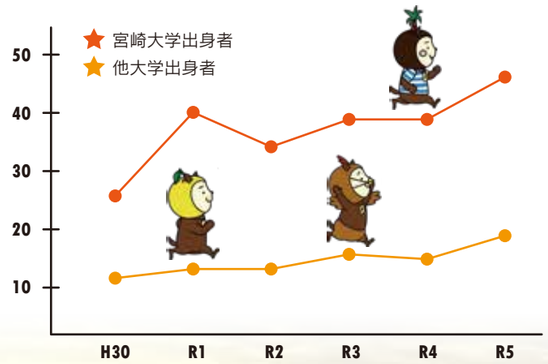
MIYAZAKI

宮崎県内専門研修開始者の状況

～宮崎県で専門研修を始めた専攻医の推移～



臨床研修修了場所別



出身大学別

MIYAZAKI LIFE

豊かな自然と温暖な気候に恵まれた「宮崎県」にはおすすめポイントがたくさんあります！

チキン南蛮

宮崎が発祥の、今や全国的にも知られるようになったチキン南蛮。タルタルソースをからめて食べると、もうやみつき！

完熟マンゴー

サンサンと降りそそぐ太陽の陽射しを浴びて育った完熟マンゴーは、糖度・香り共に超一級品です。

宮崎牛

全国和牛能力共進会で４大会連続、最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しています。言わば、日本一の和牛、宮崎牛です。

宮崎焼酎

焼酎王国、宮崎ならではの個性的な焼酎が数多くあります。一日の疲れを癒してくれる焼酎との出会いも楽しみのひとつです。

青島　国指定特別天然記念物が見られる！

海幸山幸の神話の舞台でもある青島神社が島内に鎮座。亜熱帯植物が生い茂り、“鬼の洗濯板”と言われる波状岩で囲まれた、周囲1.5kmほどの小さな島です。

高千穂峰　天孫降臨の伝説をもつ山！

ニニギノミコトという神様が、初めて天上界から地上に降り立った場所が「高千穂峰」といわれ、日本神話の歴史が始まった、天孫降臨伝説のパワースポットです。

サーフィン　国内屈指のサーフィンスポット！

太平洋に面する宮崎の海はとても綺麗で波質も良く、たくさんのサーフスポットがあります。2019年にはサーフィン世界大会も開催されました。

スポーツキャンプ観戦　国内外のプロスポーツ選手が間近に！

気候がとても温暖で、日照時間は全国でトップクラス。優れたスポーツ施設と受け入れ環境も整い、多くのプロ野球・Ｊリーグチームがキャンプに訪れています。

専門研修
基幹施設の紹介

基幹施設	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科		産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション	総合診療	プログラム数合計
宮崎大学医学部附属病院	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		18
県立宮崎病院	●	●		●	●	●								●			●			●	8
県立延岡病院	●							●													2
古賀総合病院	●																				1
宮崎生協病院																				●	1
野崎東病院						●															1
都農町国民健康保険病院																				●	1
宮崎市郡医師会病院	●																				1
吉田病院				●																	1
合　計	5	2	1	3	2	3		2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	3	34

宮崎大学医学部附属病院

本院では、診療・教育・研修を通じて「社会に貢献する」ことを理念として掲げております。専門研修においては、県内外の122施設と協力し、日本専門機構認定の基本19領域とほぼ全てのサブスペシャルティ領域の専門医資格を取得できます。県内唯一の特定機能病院として、先端医療から地域医療まで幅広く経験することができるのも魅力の１つです。

病院概要

病床数：632床
医師数：常勤医師238名
非常勤医師190名
（臨床研修医除く）

年間手術件数：7,161件
診療科目：基本領域・サブスペ領域を含む29診療科
専門研修プログラム：基本19領域全て

宮崎県立宮崎病院

大正10年に設立された当院は、宮崎市中心部に位置し、24診療科を有する地域の中核的病院としての役割を担っています。「第三次救急医療施設」、「地域がん診療連携拠点病院」等の他、多くの専門学会認定医・専門医の研修・教育（関連）施設に指定されています。令和４年の新病院移設に伴い、ICUや手術室、救急総合診療センター等をより充実させ、高度・急性期医療の中核として宮崎県の医療を支えています。

病院概要

病床数：502床
医師数：常勤医師178名

年間手術件数：9,558件
診療科目：内科／外科／小児科など24診療科
専門研修プログラム：内科／外科／小児科／精神科／整形外科／麻酔科／総合診療科／救急科

社会医療法人同心会　古賀総合病院

理念「患者さんやご家族に納得していただける医療・介護・福祉サービスを継続して提供します」のもと、宮崎東諸県医療圏・近隣医療圏にある連携施設・特別連携施設とともに、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、必要に応じた可塑性のある内科専門医として宮崎県全域を支える内科専門医の育成を行っています。

病院概要

病床数：363床
医師数：75名

年間手術件数：2,752件
診療科目：内科／外科／産婦人科など20診療科
専門研修プログラム：内科

宮崎県立延岡病院

宮崎県北部の中心都市である延岡市に位置し、医療人口23万人・宮崎県面積40%の二次・三次救急医療を担う中核的医療機関です。広範な医療圏を担う当院では、プライマリ・ケアから重篤な疾患の診断・高度先進治療まで、多種多様な症例が経験可能です。特に救急医療や急性期医療に力を入れており、救急患者への対応力を磨くと同時に、各科の専門知識・技術を深めることが可能です。

病院概要

病床数：410床
医師数：68名

年間手術件数：2,806件
診療科目：内科／外科／産婦人科など23診療科
専門研修プログラム：内科／産婦人科

医療法人建悠会　吉田病院

当院は入院307床（精神科一般病棟54床・精神療養病棟166床・認知症治療病棟45床・精神科急性期治療病棟42床）の精神科病院です。外来部門では、精神科訪問看護、精神科デイケア・デイナイトケア、重度認知症デイケアを行っています。また、認知症疾患医療センターやアルコール依存症専門医療機関の指定を受けており、専門性の高い医療を提供しています。

病院概要

病床数：307床
医師数：10名

診療科目：精神科／心療内科／耳鼻咽喉科
専門研修プログラム：精神科

都農町国民健康保険病院

人口１万人、高齢化率40％弱の都農町における唯一の病床を有する医療機関であり、宮崎大学医学部寄附講座が設置され、地域包括ケアの核として外来・救急・入院・在宅医療を担っています。

病院概要

病床数：65床
医師数：９名

診療科目：総合診療科／外科／整形外科など８診療科
専門研修プログラム：総合診療

宮崎生協病院

地域の『かかりつけ医療機関』として、宮崎県内の4診療所、介護支援事業所、訪問看護事業所、グループホーム、小規模多機能施設とともに、24時間いつでもお応えできる医療機関として機能しています。当院は、内科、外科、小児科として医療活動を中心に県内約5万人の医療生協の組合員さんとともに保健予防活動、健診活動にも力を入れ、地域での健康づくりも担っています。

病院概要

病床数：124床
医師数：24名

年間手術件数：141件
診療科目：総合内科/外科/小児科など10診療科
専門研修プログラム：総合診療

公益社団法人宮崎市郡医師会　宮崎市郡医師会病院

当院は、昭和59年４月に会員の紹介入院を主体にした共同利用施設・開放型病院として開院しました。以降、病院理念を遵守しつつ、かかりつけ医との密接な連携を図りながら、地域の基幹病院として急性期疾患を中心とした医療を担っており、令和４年度からは、基幹型臨床研修指定病院として初期臨床研修医の受入れを行っております。

病院概要

病床数：267床
医師数：65名

年間手術件数：2,397件
診療科目：内科／外科／産婦人科など11診療科
専門研修プログラム：内科

一般財団法人弘潤会　野崎東病院

急性期の病院として、外来来院数・手術症例数ともに多くの実績を有し、脊椎・スポーツ外傷・各種人工関節等を主とした診療を展開しています。

病院概要

病床数：96床
医師数：11名

年間手術件数：547件（整形外科）
診療科目：整形外科／泌尿器科／内科／放射線科
専門研修プログラム：整形外科

専門研修プログラム基幹施設・連携施設一覧（県内）

◎ 連携施設　○ 関連施設等

連携施設及び連携施設に準じる施設（延岡西臼杵医療圏・日向入郷医療圏）

基本領域	宮崎県キャリア形成プログラム	募集定員	専門研修基幹施設	掲載ページ	延岡西臼杵医療圏									日向入郷医療圏									
					おがわクリニック	黒木病院	県立延岡病院	延岡リハビリテーション病院	吉田病院	共立病院	延岡保養園	国見ケ丘病院	高千穂町国民健康保険病院	協和病院	鮫島病院	千代田病院	和田病院	田中病院	宮崎県済生会日向病院	国民健康保険 諸塚診療所	椎葉村国民健康保険病院	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町国民健康保険南郷診療所
内科	○	3	古賀総合病院	12															◎			○	
内科	○	25	宮崎大学医学部附属病院	9			◎			○			◎			◎			◎			○	
内科	○	8	県立宮崎病院	11			◎						○							○	○	○	○
内科		5	県立延岡病院	※																			
内科	○	4	宮崎市郡医師会病院	13			◎						◎										
小児科	○	7	宮崎大学医学部附属病院	14									○										
小児科	○	3	県立宮崎病院	15															◎				
皮膚科	○	4	宮崎大学医学部附属病院	16			○						○			◎					○	○	
精神科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	17					◎		◎	◎		◎	◎			◎					
精神科	○	2	県立宮崎病院	18					◎		◎	◎		◎	◎			◎					
精神科	○	3	吉田病院	19											◎								
外科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	20		◎	◎									◎			◎				
外科	○	2	県立宮崎病院	21			◎																
整形外科	○	6	宮崎大学医学部附属病院	22			◎						◎			◎			◎				
整形外科	○	2	野崎東病院	24												◎							
整形外科		2	県立宮崎病院	23												◎							
産婦人科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	25			◎																
産婦人科		3	県立延岡病院	26																			
眼科	○	4	宮崎大学医学部附属病院	27															◎				
耳鼻咽喉科	○	3	宮崎大学医学部附属病院	28																			
泌尿器科	○	6	宮崎大学医学部附属病院	29	◎		◎									◎							
脳神経外科	○	3	宮崎大学医学部附属病院	30													○						
放射線科	○	5	宮崎大学医学部附属病院	31																			
麻酔科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	32			◎																
麻酔科		1	県立宮崎病院	※			◎																
病理	○	2	宮崎大学医学部附属病院	33			◎																
臨床検査		1	宮崎大学医学部附属病院	34																			
救急科	○	7	宮崎大学医学部附属病院	35			◎						○								○	○	
救急科	○	2	県立宮崎病院	36			◎						○								○	○	
形成外科	○	2	宮崎大学医学部附属病院	37																			
リハビリ	○	2	宮崎大学医学部附属病院	38				◎															
総合診療	○	2	宮崎生協病院	40																		◎	
総合診療	○	6	都農町国民健康保険病院	41			◎						◎								◎	◎	
総合診療	○	2	県立宮崎病院	39									◎								◎	◎	

連携施設及び連携施設に準じる施設（宮崎東諸県医療圏）

基本領域	宮崎県キャリア形成プログラム	募集定員	専門研修基幹施設	掲載ページ	いしかわ内科	井上病院	おおつか生協クリニック	金丸脳神経外科病院	県精神保健福祉センター	県立こども療育センター	県立宮崎病院	古賀総合病院	国立病院機構 宮崎東病院	潤和会記念病院	高宮病院	地域医療機能推進機構 宮崎江南病院	ARTレディースクリニックやまうち	南部病院	野崎病院	野崎東病院	さがら病院宮崎	平和台病院	宮崎市郡医師会病院	宮崎市立田野病院	宮崎生協病院	宮崎善仁会病院	宮崎大学医学部附属病院	宮崎中央眼科病院	宮崎若久病院	若草病院	古賀駅前クリニック	和知川原生協クリニック	このはな生協クリニック	宮崎市総合発達支援センター
内科	○	3	古賀総合病院	12			○																		◎		◎				○	○		
内科	○	25	宮崎大学医学部附属病院	9							◎	◎	◎	◎		◎						◎	◎	○	◎	◎								
内科	○	8	県立宮崎病院	11																							◎							
内科		5	県立延岡病院	※																														
内科	○	4	宮崎市郡医師会病院	13							◎	◎													◎	◎	◎							
小児科	○	7	宮崎大学医学部附属病院	14							◎		○																					○
小児科	○	3	県立宮崎病院	15																							◎							
皮膚科	○	4	宮崎大学医学部附属病院	16							◎	◎																						
精神科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	17		◎					◎		◎		◎				◎										◎	◎				
精神科	○	2	県立宮崎病院	18		◎			◎				◎		◎				◎								◎		◎	◎				
精神科	○	3	吉田病院	19		◎																												
外科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	20							◎	◎	◎	◎				◎			◎		◎		◎	◎								
外科	○	2	県立宮崎病院	21																	◎						◎							
整形外科	○	6	宮崎大学医学部附属病院	22						◎				◎		◎				◎			◎	◎		◎								
整形外科	○	2	野崎東病院	24						◎						◎											◎							
整形外科		2	県立宮崎病院	23																														
産婦人科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	25							◎	◎					◎						◎			◎								
産婦人科		3	県立延岡病院	26								◎					◎						◎			◎	◎							
眼科	○	4	宮崎大学医学部附属病院	27							◎																	◎						
耳鼻咽喉科	○	3	宮崎大学医学部附属病院	28							◎															◎								
泌尿器科	○	6	宮崎大学医学部附属病院	29								◎		◎						◎														
脳神経外科	○	3	宮崎大学医学部附属病院	30				◎			◎			◎																				
放射線科	○	5	宮崎大学医学部附属病院	31							◎					◎							◎											
麻酔科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	32							◎			◎		◎							◎											
麻酔科		1	県立宮崎病院	※																							◎							
病理	○	2	宮崎大学医学部附属病院	33							◎	○		◎		○							◎			◎								
臨床検査		1	宮崎大学医学部附属病院	34																														
救急科	○	7	宮崎大学医学部附属病院	35							◎												◎			◎								
救急科	○	2	県立宮崎病院	36																			◎				◎							
形成外科	○	2	宮崎大学医学部附属病院	37												◎																		
リハビリ	○	2	宮崎大学医学部附属病院	38						○				◎		○				○				◎										
総合診療	○	2	宮崎生協病院	40			◎				◎	◎														◎	◎					◎	◎	
総合診療	○	6	都農町国民健康保険病院	41			◎				◎	◎												◎	◎		◎					◎	◎	
総合診療	○	2	県立宮崎病院	39	◎		◎																											

連携施設及び連携施設に準じる施設（西都児湯医療圏・日南串間医療圏・都城北諸県医療圏・西諸医療圏）

基本領域	宮崎県キャリア形成プログラム	募集定員	専門研修基幹施設	掲載ページ	西都児湯医療圏						日南串間医療圏							都城北諸県医療圏														西諸医療圏								連携施設なし
					地方独立行政法人 西都児湯医療センター	国民健康保険西米良診療所	国立病院機構 宮崎病院	川南病院	海老原総合病院	都農町国民健康保険病院	県立日南病院	谷口病院	日南市立中部病院	愛生会日南病院	なんごう病院	串間市民病院	県南病院	国立病院機構 都城医療センター	大悟病院	橘病院	永田病院	藤元病院	藤元上町病院	藤元総合病院	都城新生病院	都城市郡医師会病院	宮田眼科	都城健康サービスセンター	宮永病院	メディカルシティ東部病院	ホームクリニックみまた	池田病院	内村病院	小林市立病院	池井病院	桑原記念病院	えびの市立病院	京町共立病院	国民健康保険高原病院	
内科	○	3	古賀総合病院	12						○	◎																													
内科	○	25	宮崎大学医学部附属病院	9	○				○		◎		◎			○		◎					○			◎			○						○			○		
内科	○	8	県立宮崎病院	11		○					◎					○																		○			○		○	
内科		5	県立延岡病院	※																																				○
内科	○	4	宮崎市郡医師会病院	13			○		◎		◎															◎				○						○				
小児科	○	7	宮崎大学医学部附属病院	14			◎			○	◎			○				◎								◎								○						
小児科	○	3	県立宮崎病院	15			○				◎			○				○								◎														
皮膚科	○	4	宮崎大学医学部附属病院	16		○																																		
精神科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	17								◎					◎		◎		◎	◎			◎								◎							
精神科	○	2	県立宮崎病院	18								◎					◎		◎		◎	◎			◎								◎							
精神科	○	3	吉田病院	19								◎																												
外科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	20							◎					◎		◎								◎								◎						
外科	○	2	県立宮崎病院	21							◎					◎								◎										◎						
整形外科	○	6	宮崎大学医学部附属病院	22			◎				◎				◎	◎		◎		◎				◎		◎								◎			◎			
整形外科	○	2	野崎東病院	24							◎																													
整形外科		2	県立宮崎病院	23																																				
産婦人科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	25							◎							◎																						
産婦人科		3	県立延岡病院	26							◎							◎																						
眼科	○	4	宮崎大学医学部附属病院	27							◎																◎													
耳鼻咽喉科	○	3	宮崎大学医学部附属病院	28														◎																						
泌尿器科	○	6	宮崎大学医学部附属病院	29				◎			◎					◎								◎										◎						
脳神経外科	○	3	宮崎大学医学部附属病院	30							◎															◎						◎								
放射線科	○	5	宮崎大学医学部附属病院	31																				◎		◎		○												
麻酔科	○	10	宮崎大学医学部附属病院	32							○							◎								◎														
麻酔科		1	県立宮崎病院	※							◎																													
病理	○	2	宮崎大学医学部附属病院	33							◎							○						○		○														
臨床検査		1	宮崎大学医学部附属病院	34																																				○
救急科	○	7	宮崎大学医学部附属病院	35												○										◎								◎						
救急科	○	2	県立宮崎病院	36												○										◎								◎						
形成外科	○	2	宮崎大学医学部附属病院	37																						◎														
リハビリ	○	2	宮崎大学医学部附属病院	38														○																						
総合診療	○	2	宮崎生協病院	40																																				
総合診療	○	6	都農町国民健康保険病院	41		◎					◎					◎										◎					◎			◎						
総合診療	○	2	県立宮崎病院	39												◎																								

※県立延岡病院内科プログラム及び県立宮崎病院麻酔科プログラムについては、直接医療機関にお問い合わせください。

専門研修基幹施設における 身分及び処遇

各専門研修基幹施設における身分及び処遇を掲載しています。

宮崎大学医学部附属病院

身　分	非常勤医師（医員）
給　与	宮崎大学医学部附属病院の就業規則に準じて給与が支払われます。
各種手当	通勤手当、時間外勤務手当、宿日直手当等
保険等	文部科学省共済組合、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
勤務時間	月曜～金曜 8:30～17:15（週38.75時間勤務）
休　暇	○休日（土・日・祝） ○有給休暇 1年次10日（2年次以降は非常勤就業規則に準じて増えます） ○特別休暇 夏季休業、リフレッシュ休暇、産前産後休暇等
その他	大学職員宿舎（状況により入居できない場合があります） 院内保育園（くすのき保育園）

宮崎県立宮崎病院

身　分	宮崎県病院局職員
給　与	医師給与規程による
各種手当	期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当、住居手当、通勤手当等
保険等	地方公務員共済組合保険、厚生年金保険、公務災害保険、雇用保険、病院賠償責任保険
勤務時間	常勤医 8:30～17:15
休　暇	完全週休2日制、国民の祝日、年末年始の休日、年次有給休暇、夏季休暇、その他結婚・忌引き等の特別休暇有り
その他	院内保育、学会等への参加支援制度

宮崎県立延岡病院

身　分	宮崎県病院局職員
給　与	医師給与規定による
各種手当	期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当、住居手当、通勤手当等
保険等	地方公務員共済組合保険、厚生年金保険、公務災害保険、雇用保険、病院賠償責任保険
勤務時間	常勤医 8:30～17:15
休　暇	完全週休2日制、国民の祝日、年末年始の休日、年次有給休暇、夏季休暇、その他結婚・忌引き等の特別休暇有り
その他	医師公舎（単身用・世帯用）、院内保育、夜間保育、学会・講習会等参加支援制度等

社会医療法人同心会　古賀総合病院

身　分	常勤医師
給　与	1年次：700万円、2年次：750万円、3年次：800万円
各種手当	宿日直手当、その他諸手当は病院規定に準ずる
保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険
勤務時間	8:15～17:15
休　暇	4週8休制（土日祝）、有休休暇（4月採用 10日付与）、年末年始休暇（12/31～1/3）
その他	単身者専用宿舎（バス・トイレ付ワンルームマンション）家賃30,000円／月額（駐車場込）※入居の条件あり 学会・講習会等の支援制度、健康診断および予防接種を正規職員に準じて実施、医師賠償責任保険は病院包括特約にて適用

宮崎生協病院

身　分	常勤
給　与	月額40万～50万円、別途　賞与年2回
各種手当	住宅手当・家族手当・通勤手当・夜間当直手当
保険等	健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金
勤務時間	平　日 8:15～16:45（休憩12:30～13:30） 土曜日 8:15～12:15
その他	2学会まで加入・参加の費用補償、研修医室、研修医宿舎なし（医師住宅手当4万円）

一般財団法人弘潤会　野崎東病院

身　分	整形外科医員
給　与	基本給月額45万円
各種手当	職務手当、通勤手当、時間外手当、日宿直手当等
保険等	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間	8:30～17:30（休憩時間除く8時間労働）
休　暇	休日（土・日・祝）、有給休暇（入職より6ヶ月後10日付与） 特別休暇（夏季休暇3日、年末年始休暇5日）、慶弔休暇
その他	学会・研修等参加費用（旅費含む）、年2回まで実費支給 制服貸与、院内食堂、院内売店、医師専用駐車場完備

都農町国民健康保険病院

身　分	非常勤
給　与	医師給与規定による
各種手当	通勤手当、宿日直手当、時間外勤務手当、特別手当等
保険等	地方公務員共済組合保険、厚生年金保険、公務災害保険
勤務時間	8:15～17:00
休　暇	有給10日、夏季休暇3日、年末年始6日、その他結婚・忌引特別休暇有り
その他	医師宿舎、学会・講習会等参加支援制度、制服貸与

公益社団法人宮崎市郡医師会　宮崎市郡医師会病院

身　分	公益社団法人宮崎市郡医師会職員
給　与	月額60万～70万円
各種手当	通勤手当、住宅手当、時間外手当等
保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険
勤務時間	8:30～17:00
休　暇	4週6休、年末年始、夏季休暇（4日）
その他	院内保育所（病児保育無し） 学会参加については、勤務期間、勤務年数に応じ年3回病院負担

医療法人建悠会　吉田病院

身　分	常勤医
給　与	年額1,800万円程度
各種手当	精神保健指定医付加給、当直手当
保険等	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
勤務時間	8:20～17:00
休　暇	日曜日・祝日・年末年始12/31～1/3・夏季休暇（7日間） 毎週月～土の間の1日
その他	医師宿舎、学会参加費用年2回（15万円限度）

「日本のひなた」みやざきではじめよう！

次ページから紹介している各研修プログラムのページをチェック!!

募集定員 **25名**

研修期間 **3年**

宮崎大学医学部附属病院

内科専門研修プログラム

プログラム責任者
血液・糖尿病・内分泌内科学分野 教授
下田 和哉 医師
TEL.0985-85-9121
E-Mail naika_senmon@med.miyazaki-u.ac.jp

循環器内科・腎臓内科
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/medicin1/
血液内科・内分泌・代謝・糖尿病内科
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/ketsunaitai/
呼吸器内科・膠原病内科・感染症内科・脳神経内科
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/resprheuminfecneur9640/
消化器内科
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/gastroenterology/

責任者メッセージ

内科には、熱や全身倦怠感、痛み、呼吸困難、腹痛など、の自覚症状を有する患者さんが受診されます。内科医は、患者さんの多彩な訴えや症状から鑑別診断を行い、必要に応じてサブスペシャルティ領域の専門医にコンサルトし、また、肺炎、糖尿病、高血圧などのcommon diseaseに対処できる必要があります。本プログラムでは、この様な全ての内科医の基盤となる研修に加え、内科の各サブスペシャルティ領域の研修も併行して行います。研修終了時には、広範囲な内科疾患の基本的な診断、治療ができることに加え、各自が選択したサブスペシャルティ領域の専門医への研修にシームレスに移行できます。宮崎の地で、内科を極めよう。

プログラムの特徴

1 ３種類の研修プログラムのなかから、研修期間や分野も自由に選択できます。
2 宮崎県全県下における地域の病診連携の中核のため、多数の症例を経験することができます。
3 各Subspecialtyのエキスパートがそろっていますので、将来Subspecialty専門医の取得につながる内科研修が可能です。
4 各種臨床試験、臨床研究や基礎的研究の基本を身につけることが可能で、将来的な大学院での研究者への道も提供できます。

連携施設・関連施設等

県内 県立宮崎病院／県立延岡病院／県立日南病院／宮崎市郡医師会病院／都城市郡医師会病院／国立病院機構 宮崎東病院
国立病院機構 都城医療センター／地域医療機能推進機構 宮崎江南病院／古賀総合病院／潤和会記念病院／宮崎善仁会病院
千代田病院／平和台病院／宮崎生協病院／宮崎県済生会日向病院／日南市立中部病院／高千穂町国民健康保険病院

県外 国立研究開発法人国立循環器病センター（大阪府）

特別連携施設　県内 地方独立行政法人西都児湯医療センター／串間市民病院／藤元上町病院／美郷町国民健康保険西郷病院
延岡共立病院／京町共立病院／宮永病院／池井病院／宮崎市立田野病院／海老原総合病院

週間スケジュール

1 朝カンファレンス、分野ごとのカンファレンス・回診朝、患者申し送りを行い、指導医からフィードバックを受け、指摘された課題について学習を進めます。また分野ごとのカンファレンス・回診もあり、専門的指導を受けます。
2 **総回診**：受持患者について教授をはじめとした指導医陣に報告してフィードバックを受けます。受持以外の症例についても見識を深めます。
3 **症例検討会（毎週）**：診断・治療困難例、臨床研究症例などについて専攻医が報告し、指導医からのフィードバック、質疑などを行います。
4 **診療手技セミナー（毎週）**：分野ごとの診療手技において、診療スキルの実践的トレーニングを行います。
5 **CPC**：死亡・剖検例、難病･稀少症例についての病理診断を検討します。
6 **関連診療科との合同カンファレンス**：関連診療科と合同で、患者の治療方針について検討し、内科専門医のプロフェッショナリズムについても学びます。
7 **抄読会・研究報告会（毎週）**：受持症例等に関する論文概要を口頭説明し、意見交換を行います。研究報告会では講座で行われている研究について討論を行い、学識を深め、国際性や医師の社会的責任について学びます。
8 **Weekly summary discussion**：週に１回、指導医とのdiscussionを行い、その際、当該週の自己学習結果を指導医が評価し、研修手帳に記載します。
9 **学生・初期研修医に対する指導**：病棟や外来で医学生･初期研修医を指導します。後輩を指導することは、自分の知識を整理・確認することにつながることから、当プログラムでは、専攻医の重要な取組と位置づけています。

取得可能な専門医資格等

内科専門医
総合内科Ⅰ（一般）、Ⅱ（高齢者）、Ⅲ（腫瘍）、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病および類縁疾患、感染症、その他各分野における専門的身体診察、専門的検査、治療について技能を習得できます。

ローテーション例

本プログラムでは専攻医が抱く専門医像や将来の希望に合わせて以下の３つのコースを準備しています。

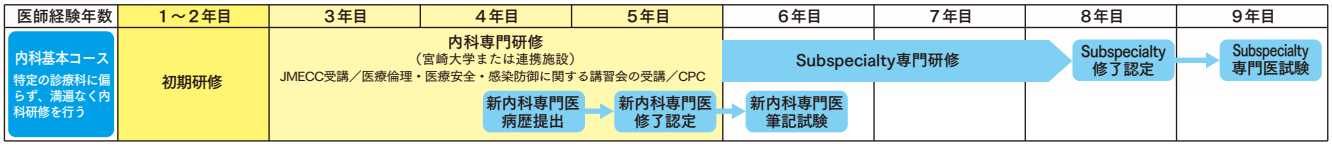
① 内科基本コース　② Subspecialty 重点コース　③ 内科・Subspecialty 混合コース

コース選択後も条件を満たせば他のコースへの移行も認められます。

Subspecialtyが未決定、または高度な内科専門医を目指す場合は内科基本コースを選択します。専攻医は各診療科の医師の指導のもと、３年間で各内科や内科臨床に関連ある救急部門などを３ヶ月から６ヶ月毎にローテートします。将来のSubspecialtyが決定している専攻医はSubspecialty重点コースまたは内科・Subspecialty混合コースを選択します。Subspecialty重点コースはSubspecialtyの希望診療分野を原則として１年か２年間研修し、研修進捗状況によって他の診療科を３ヶ月から６ヶ月毎にローテーションします。いずれのコースを選択しても遅滞なく内科専門医受験資格を得られる様に工夫されており、専攻医は卒後６年目以降で内科専門医、その後Subspecialty領域の専門医が７年目か８年目以降で取得できます。内科・Subspecialty混合コースは４年間かけて内科・Subspecialty領域を合わせて研修するもので、専攻医は卒後７年目以降でそれぞれ内科専門医、 Subspecialtyの専門医の取得ができます。

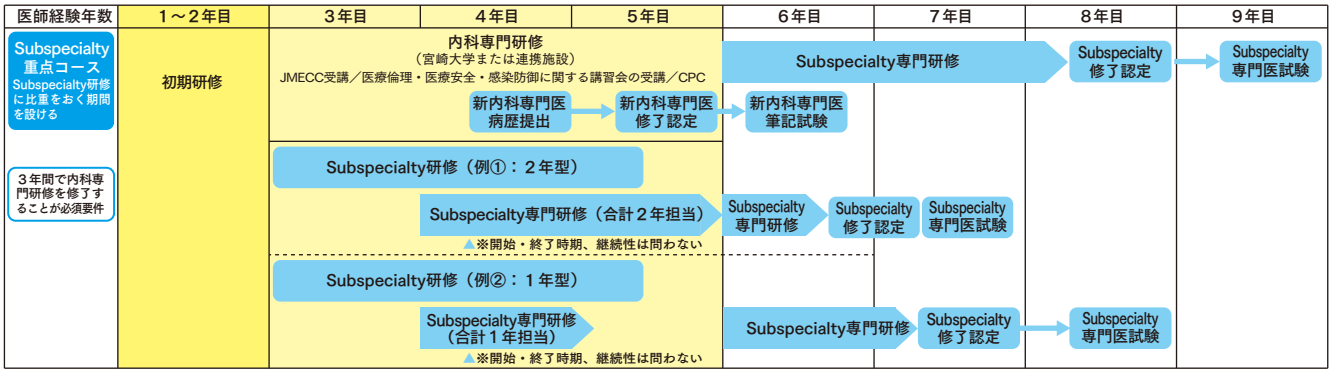
①　内科基本コース

内科（Generality）専門医は勿論のこと、将来、内科指導医や高度Generalistを目指す方も含まれます。将来のSubspecialtyが未定な場合に選択することもあり得ます。内科基本コースは内科の領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースであり、専攻医研修期間の３年間において内科領域を担当する全ての科をローテーションします。原則として、延べ２年間に４科を基幹施設でローテーションします。３年間のうち１年間は地域医療の経験と症例数が充足していない領域を重点的に連携施設で研修します。連携施設としては25施設（P7）で病院群を形成し、いずれかを原則として１年間ローテーションします（複数施設での研修の場合は研修期間の合計が１年間となります）。研修する連携施設の選定は専攻医と面談の上、プログラム統括責任者が決定します。



②　Subspecialty重点コース

希望するSubspecialty領域を重点的に研修するコースです。３年間で内科専門研修を修了することが必須条件で、Subspecialty領域の研修を合計１年間か２年間の２タイプから選択します。Subspecialty領域研修の開始・終了時期、継続性は問いません。この期間、専攻医は将来希望する内科において理想的医師像とする指導医や上級医師から、内科医としての基本姿勢のみならず目指す領域での知識、技術を学習することにより、内科専門医取得へのMotivationを強化することができます。連携施設における当該Subspecialty科において内科研修を継続してSubspecialty領域を重点的に研修することも可能で、充足していない症例を経験します。研修する連携施設の選定は専攻医と面談の上、希望するSubspecialty領域の責任者とプログラム統括責任者が協議して決定します。なお、研修中の専攻医数や進捗状況により、初年度から連携施設での重点研修を行うことがありますが、あくまでも内科専門医研修が３年間で修了することが必須条件です。図に示すこのコースでは、１年型と２年型の研修コースを示していますが、Subspecialty開始・終了時期、継続期間については専攻医と面談の上、プログラム統括責任者が決定します。

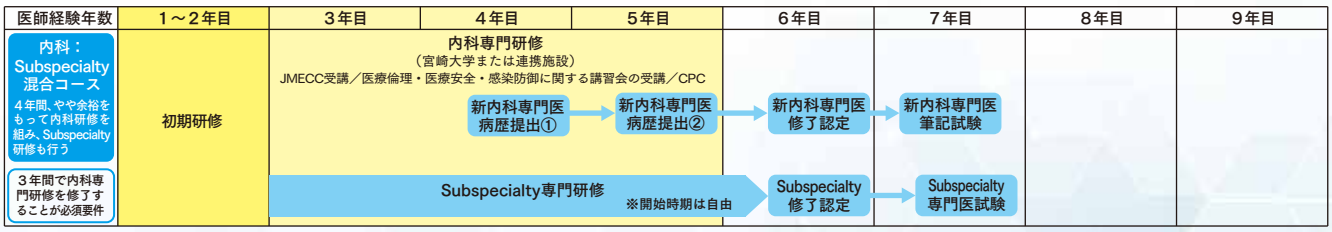


③　内科・Subspecialty 混合コース

このコースは、４年間、やや余裕をもって内科専門研修を組み、Subspecialty研修も行うもので、４年間で内科専門研修とSubspecialty領域の研修を同時に修了するものです。Subspecialty重点コースと同様に、Subspecialty領域研修の開始・終了時期、継続性は問いません。研修内容や連携施設の選定などはSubspecialty重点コースと同様に行います。

このコースを選択すると内科専門医試験は卒後７年目以降に受験することとなります。

また、専門医資格の取得と臨床系大学院への進学を希望する場合は、②あるいは③のコースを選択の上、大学院の指導教員と協議して大学院入学時期を決めて頂きます。



詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

循環器内科・腎臓内科　血液内科・内分泌代謝・糖尿病内科　呼吸器内科・膠原病内科感染症内科・脳神経内科　消化器内科

募集定員 **8名**

研修期間 **3年**

宮崎県立宮崎病院

内科専門研修プログラム

プログラム責任者
副院長（総括）兼内科部長兼医療安全管理科部長兼感染管理科部長
眞柴 晃一 医師
TEL.0985-24-4181 FAX.0985-28-1881
E-Mail miyazaki-hp@pref.miyazaki.lg.jp
https://www.kenritsu-miyazakibyouin.jp

責任者メッセージ

開設100年の歴史を有する宮崎県立宮崎病院は、宮崎市中心部に位置し、県下の中核的病院としての役割を担っています。また「地域がん診療連携拠点病院」・「第三次救急医療施設」の指定等、高度先進医療と多彩な症例、豊富な臨床経験を持つ専門医が多数在籍しており、専門研修を行う場として大変恵まれた環境にあります。本プログラムでは、専門研修を経て宮崎県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせて実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として宮崎県全域のみならず日本全体の地域医療を支える内科専門医を育成することを目的としております。

プログラムの特徴

宮崎県立宮崎病院は、宮崎県全県下における中心的な高次機能・専門病院・急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核です。従って豊富な疾患群、症例、専門的な医療を経験でき、連携施設群に数多く所属する経験・知識豊富な指導医による適切な指導の下、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能を修得することができます。また、本プログラムは、キャリア形成プログラムにも対応しており、多様な背景、進路を希望する専攻医に対しても県内外問わず十分な研修機会を提供できるものとなっています。

連携施設・関連施設等

県内 宮崎県立延岡病院／宮崎県立日南病院
宮崎大学医学部附属病院／美郷町国保西郷病院
美郷町国保南郷診療所／椎葉村国保病院／西米良村国保診療所
高千穂町国保病院／諸塚村国保診療所／小林市立病院
串間市民病院／えびの市立病院／国保高原病院

県外 九州大学病院／福岡大学病院／九州医療センター／福岡市民病院
福岡赤十字病院／浜の町病院／原三信病院／麻生飯塚病院
JCHO九州病院／北九州市立医療センター／新小倉病院
九州大学病院別府病院／大阪公立大学病院／久留米大学病院

週間スケジュール

曜日	AM	PM	
月	呼吸器内科・膠原病感染症内科 早朝回診 入院患者診療 血液透析、網膜透析	入院患者診療 腎生検カンファ（病理） 病院全体カンファ 呼吸器内科・膠原病感染症内科 夕方回診	担当患者の病態に応じた診療
火	呼吸器内科・膠原病感染症内科 早朝回診 新患紹介 入院患者診療 血液透析、網膜透析	入院患者診療 気管支鏡検査 内科カンファ 呼吸器内科・膠原病感染症内科 夕方回診	
水	呼吸器内科・膠原病感染症内科 早朝回診 入院患者診療 血液透析、網膜透析 腎生検	入院患者診療 腎手術 呼吸器内科・膠原病感染症内科 夕方回診	
木	呼吸器内科・膠原病感染症内科 早朝回診 入院患者診療 血液透析、網膜透析	入院患者診療 呼吸器膠原病感染症合同カンファ 呼吸器内科外科病理合同カンファ 呼吸器内科・膠原病感染症内科 夕方回診	
金	呼吸器内科・膠原病感染症内科 早朝回診 入院患者診療 血液透析、網膜透析	入院患者診療 気管支鏡検査 呼吸器内科・膠原病感染症内科 夕方回診	
土・日	担当患者の病態に応じた診療、日当直、学会参加等		

ローテーション例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹型施設											
	56疾患群、160症例以上の経験と登録 病歴要約15症例以上の登録											
2年目	基幹型施設						連携施設A					
	70疾患群、200症例以上の経験登録 専門研修修了に必要な病歴要約全ての登録											
3年目	連携施設B						基幹型施設					
	経験が不足している疾患の経験 Subspecialty領域の研修											

取得可能な専門医資格等

内科専門医／呼吸器専門医／気管支鏡専門医／血液専門医
感染症専門医／リウマチ専門医／腎臓専門医
内分泌代謝科専門医／糖尿病専門医／消化器病専門医
消化器内視鏡専門医／循環器専門医／神経内科専門医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
3名

研修期間
3年

社会医療法人同心会　古賀総合病院

内科専門医プログラム

プログラム責任者
肝臓内科　医長
楠元　寿典 医師
TEL.0985-39-8888
E-Maik rinsho-k@kgh.or.jp
http://www.kgh.or.jp/20171004145601-2.html

責任者メッセージ

当院は、宮崎県東諸県医療圏の中心的な急性期病院で、地域医療支援病院として多くの医療機関と連携しており、コモンディジィーズからまれな疾患まで幅広く経験でき「臨床力」を身につけることができます。また多数の学会関連施設であり将来のsubspecialtyを視野に入れた内科専門医を目指すことができます。市中病院でありながら、日本全国で脾臓計測に使用される「古賀の式（脾臓長軸×短軸×0.9）」を提唱した病院であり、豊かな臨床研究マインドがあります。理念のもと、顔も名前も全員わかる規模の市中病院の強みを生かし、病院全体で「内科専門医」を育てたいと思っています。病院一同 皆さんを心からお待ちしています。

プログラムの特徴

基幹施設である古賀総合病院内科で、専門研修（専攻医）3年間で専門研修と同時進行でSubspecialty研修を行います。 専攻医２年目の１年間、連携施設・特別連携施設で研修をします。なお、研修達成度によってはSubspecialty研修も可能です（個々人により異なります）。最短で専攻医が希望するSubspecialty領域の専門医を取得できます。

連携施設・関連施設等

連携施設

県内　宮崎大学医学部附属病院／宮崎生協病院
宮崎県立日南病院／宮崎県済生会日向病院

県外　市立東大阪医療センター

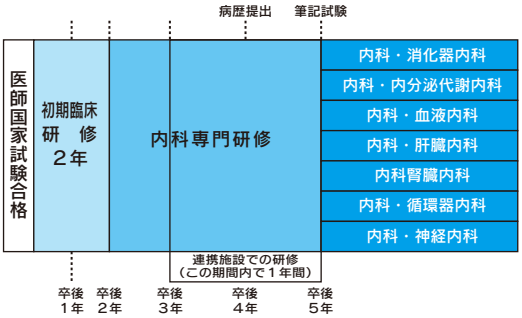
特別連携施設

県内　美郷町国民健康保険西郷病院／和知川原生協クリニック
おおつか生協クリニック／古賀駅前クリニック
都農町国民健康保険病院

ローテーション例

		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
1年目	内科全般 サブスペシャルティ領域	古賀総合病院	古賀総合病院	古賀総合病院	古賀総合病院
2年目	サブスペシャルティ領域 へき地研修	宮崎大学医学部附属病院		美郷町国民健康保険西郷病院	
3年目	内科全般 サブスペシャルティ領域	古賀総合病院	古賀総合病院	古賀総合病院	古賀総合病院

取得可能な専門医資格等



週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午　前	研修医勉強会	研修医勉強会	循環器カンファレンス	内科、外科・放射線科 合同カンファレンス	研修医勉強会	担当患者の病態に応じた診療／オンコール／日当直／講習会・学会参加など	
	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療		
	内科外来診療	内科検査〈各診療科〉	内科外来診療		内科検査 〈各診療科〉		
午　後	入院患者診療	回　診	抄読会	内科検査 〈各診療科〉	内科外来診療		
		内科カンファレンス	講演会、CPCなど	入院患者診療	入院患者診療		
	担当患者の病態に応じた診療／オンコール／当直など						

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **4名**

研修期間 **3年**

公益社団法人宮崎市郡医師会　宮崎市郡医師会病院

内科専門医プログラム

プログラム責任者
副院長
柴田 剛徳 医師
TEL.0985-77-9101 FAX.0985-77-9121
E-Mail mi-rinsyo-k@cure.or.jp
https://www.cure.or.jp/

責任者メッセージ

専攻医時代は、やればやるほど新しい知識技術が身につき、経験が記憶に残り将来につながる医師人生の中でも特に充実した期間です。沢山の患者さんと出会い、真剣に向き合う中で、医師としての基本的な姿勢や知識を得る日々は必ず将来の姿につながります。当院は主に急性期疾患を扱う病院であり、多くの救急・重症患者さんの診療に携わることができます。指導医の直接指導を受けながら救急での診断や治療、手術といった現場での診療経験を積むことは大きな力となります。また学術面でも国内外の学会で、多くの症例発表・研究論文発表が可能です。専攻医として思い切り頑張りたいと言う気持を持っている先生方は是非、一緒に頑張ってみませんか。

プログラムの特徴

当院の理念である「患者さんの人権を尊重し、適正な医療を安全に提供するとともに、開放型病院としての特性を最大限に活かし地域医療に貢献することを使命とする」のもと、宮崎県東諸県郡医療圏の中心的な急性期病院である当院を基幹施設として，特に心疾患について学び、その他疾患についても、宮崎県内や日本全国にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を行い、各地域の実情に合った実践的な医療を行える能力が身につくことを特徴としたプログラムになっております。

連携施設・関連施設等

県内　宮崎大学医学部附属病院／県立宮崎病院
県立延岡病院／県立日南病院
古賀総合病院／宮崎生協病院
宮崎善仁会病院／都城市郡医師会病院
高千穂町国民健康保険病院／海老原総合病院
メディカルシティ東部病院
国立病院機構宮崎病院／桑原記念病院

県外　手稲渓仁会病院／国家公務員共済組合連合虎の門病院／和歌山県立医科大学附属病院
公益財団法人大原記念 倉敷中央医療機構 倉敷中央病院／九州大学病院／株式会社 麻生 飯塚病院
久留米大学病院／佐賀大学医学部附属病院／熊本赤十字病院／熊本大学病院
沖縄県立中部病院／武蔵野赤十字病院／NTT東日本関東病院／東京医科大学八王子医療センター
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院／名古屋記念病院／京都第一赤十字病院
国立研究開発法人 国立循環器病研究センター／社会医療法人 近森会 近森病院
長崎大学病院／社会福祉法人 恩賜財団 済生会 熊本病院／鹿児島大学病院
香川県立中央病院／公立学校共済 関東中央病院／府中病院

ローテーション例

３年間の研修期間の２年間を基幹施設（宮崎市郡医師会病院）で研修を行い、１年間を連携施設で研修を行う。（主に２年次）

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
午前	ICU･CCU カンファレンス	救急科合同カンファレンス	ICU･CCU カンファレンス	ICU･CCU カンファレンス	救急科合同カンファレンス	担当患者の病態に応じた診療・オンコール･日当直や、講習会・学会参加など
	循環器内科回診	新患外来診察	循環器内科 外来診察	カテーテル検査	内視鏡検査	
	人工透析					
午後	超音波検査	気管支鏡検査	カテーテル治療（手術室）	カテーテル治療	内科 外来診察	
	超音波カンファレンス	内科カンファレンス	カテーテルカンファレンス	カテーテルカンファレンス	内科カンファレンス	

取得可能な専門医資格等

内科専門医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
7名

研修期間
3年

宮崎大学医学部附属病院

小児科専門研修プログラム

プログラム責任者
小児科・教授
盛武　浩　医師

TEL.0985-85-0989 FAX.0985-85-2403
E-Mail konomoto@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pediatrics/

責任者メッセージ

「なぜ小児科を選んだのですか？」とよく質問を受けます。私の場合、“小児医療は「曙の医学」である”と学生実習中に先輩小児科医師がおっしゃった素敵なフレーズが胸に突き刺さり、小児科医になることを決めました。小児医療は、根治を目指し全力投球でき、その結果、病気を克服した子ども達が成人となり、少子化で苦しむ日本の救世主として社会へ羽ばたく姿をみられる喜びを実感でき、まさに「曙の医学」です。また、細分化された現代医療の中で「全身を診る」という学問的にも非常に満足度が高い分野です。共に宮崎の小児医療を担ってくれる、志の高い若い先生をお待ちしています。

プログラムの特徴

本プログラムは、主に宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、NHO都城医療センター、NHO宮崎病院などで研修し、一次医療から三次医療まで幅広い知識と診療技能を習得することが可能です。各病院で特徴のある診療に従事し、指導・教育を受け小児科専門医を取得することができます。また、宮崎大学医学部附属病院では、ほぼ全ての小児専門領域の診療を行っており、1人の患者に対してそれぞれの専門分野の知識や技術を活かし、協力しながら適切な医療を提供する体制が構築されていることは、自慢できる特徴といえます。

連携施設・関連施設等

県内　県立宮崎病院／県立日南病院／国立病院機構都城医療センター／都城市郡医師会病院
国立病院機構宮崎病院／宮崎市総合発達支援センター／国立病院機構宮崎東病院
愛泉会日南病院／小林市立病院／都農町国民健康保険病院／高千穂町国民健康保険病院

県外　京都府立医科大学附属病院
京都市立病院

ローテーション例

専攻医登録後、それぞれの研修病院を半年から1年間研修することで、小児の主要な症候や新生児から各種専門領域の疾患を経験し、3年経過したのちに小児科専門医試験を受験することができます。

主な研修病院	宮崎大学病院	県立宮崎病院	都城医療センター	都城医師会病院	県立日南病院
研修期間	12か月	12か月	6～12か月	6～12か月	6～12か月

週間スケジュール

時　間	月	火	水	木	金	土・日
～ 8:30	受持患者情報の把握					
8:30～ 9:00	抄読会研究会報告	入退院カンファレンス	ミニレクチャー	症例検討会	入退院カンファレンス	週末日直（2/月）
9:00～ 9:30	グループカンファレンス　グループ回診					
9:30～12:00	病棟	病棟	病棟　外来	病棟　外来	病棟	
12:00～13:00					薬理セミナー（不定期）	
13:00～17:30	病棟 学生・初期研修 医の指導 血液腫瘍カンファ 腎泌尿器カンファ	病棟 学生・初期研修 医の指導 全体カンファおよび 総回診	病棟 学生・初期研修 医の指導 代謝･内分泌カンファ 神経カンファ	病棟 学生・初期研修 医の指導 ハンズオンセミナー 学生症例発表（隔週）	病棟 学生・初期研修 医の指導	合同勉強会（年３回）
17:30～19:00	患者申し送り					
17:30～19:00	リサーチ ミーティング（隔週）				ふりかえり （1/月）	

※小児泌尿器合同カンファ（1/月）、循環器外科合同カンファ（1～2/月）を月曜日に開催

取得可能な専門医資格等

３年間の研修によって、小児科医として必要な小児の診察や一般的な手技を取得し小児科専門医を取得可能です。小児科専門医取得後は、各種専門領域の指導医のもと研修を行い、日本小児血液学会認定専門医、日本腎臓専門医、日本小児神経専門医、小児循環器専門医、周産期専門医など各サブスペ領域の専門医を取得可能です。

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **3名**

研修期間 **3年**

宮崎県立宮崎病院

小児科専門研修プログラム

プログラム責任者
小児科主任部長
中谷 圭吾 医師

TEL.0985-24-4181 FAX.0985-28-1881
E-Mail miyazaki-hp@pref.miyazaki.lg.jp
http://www.kenritsu-miyazakibyouin.jp

責任者メッセージ

小児科医は、成長、発達の過程にある小児の診療のため、正常小児の成長・発達に関する知識が不可欠で、新生児期から思春期まで幅広い知識と、発達段階によって疾患内容が異なるという知識が必要です。本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進及び福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく幅広く研修します。専攻医は、「小児科医は子供の総合医である」という基本的姿勢に基づいて３年間の研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の５つの資質を備えた小児科専門医となることを目指してください。

プログラムの特徴

宮崎県立宮崎病院は、宮崎県中央部の中核病院として救急疾患の対応、急性疾患の管理を重点に行っており、小児科医に欠く事のできない小児初期救急医療を研修できる施設です。また、高度な専門医療に対応するため経験豊富な専門医を有し、各専門領域の研修も可能となっています。さらに本プログラムは、宮崎県中央部、県西南部、県北部にわたる連携・関連施設で構成され、地域の特性と病院の役割に応じてすべての領域にわたり、もれなく経験できるプログラムとなっています。

連携施設・関連施設等

県内 宮崎大学医学部附属病院／済生会日向病院／都城市郡医師会病院
国立病院機構宮崎病院／国立病院機構都城医療センター
愛生会日南病院／宮崎県立日南病院

県外 京都府立医科大学附属病院／京都市立病院

ローテーション例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	宮崎県立宮崎病院											
2年目	宮崎大学医学部附属病院											
3年目	都城市郡医師会病院						済生会日向病院					

（研修年次毎の達成度）

1年目	健康な子どもと家族、common disease、小児保健・医療制度の理解 基本的診療技能（面接・診察・手技）、健康診査法の修得 小児科総合医、育児・健康支援者としての役割を自覚する
2年目	病児と家族、重症疾患・救急疾患の理解 診療技能に習熟し、重症疾患・救急疾患に的確に対応できる 小児科総合医としての実践力を高める、後輩医師への指導
3年目	高度先進医療、希少難病、障がい児に関する理解、技能の習得 子どもの代弁者、学識者、プロフェッショナルとしての実践 専攻医とりまとめ、後輩医師への指導、研修プログラムへの積極的関与

週間スケジュール

曜日	AM	PM	
月	受持患者情報の把握 病棟カンファ グループカンファ 回診・病棟・外来	病棟・外来 学生・研修医への指導 カンファ	当直（1／週程度）
火	受持患者情報の把握 病棟カンファ グループカンファ 回診・病棟・外来	病棟・外来 学生・研修医への指導	
水	受持患者情報の把握 病棟カンファ グループカンファ 回診・病棟・外来	病棟・外来 学生・研修医への指導 全体カンファ 薬理セミナー（不定期）	
木	受持患者情報の把握 病棟カンファ グループカンファ 回診・病棟・外来	病棟・外来 学生・研修医への指導	
金	受持患者情報の把握 抄読会・症例発表 病棟カンファ グループカンファ 回診・病棟・外来	病棟・外来 学生・研修医への指導	
土・日	週末日当直（2/月程度）		

取得可能な専門医資格等

日本小児科学会専門医
日本小児循環器学会専門医
日本周産期・新生児学会周産期専門医（新生児）

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
4名

研修期間
5年

宮崎大学医学部附属病院

皮膚科専門研修プログラム

プログラム責任者
皮膚科・教授
天野 正宏 医師

TEL.0985-85-2967 FAX.0985-85-6597
E-Mail derma@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/derma/

責任者メッセージ

皮膚科は新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、アトピー性皮膚炎や薬疹など薬物療法が主体の疾患から、熱傷や皮膚癌などの外科的治療が必要なものまで守備範囲とすることが大きな魅力です。数多くの症例を経験することで、患者さんの病巣を的確に表現できるようになり、そしてこのことは臨床診断や病態の把握に役立ちます。また皮膚科ではマクロ（臨床）とミクロ（皮膚病理）を対比できるのが強みです。病理が苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、皮膚病理は確定診断になる事はもちろん、臨床像や病態と密接に関係しています。私たちとマクロとミクロを診る目を養って頂きたいと思います。私たちとここ宮崎で皮膚科学を極めたい仲間を歓迎いたします。

プログラムの特徴

外来患者数は1日平均50人以上、疾患も先天性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患、皮膚悪性腫瘍など多岐にわたります。入院患者は重症薬疹、熱傷、皮膚癌など重症患者も多く、豊富な経験を積むことができるのが特徴です。また年間手術件数も多く全身麻酔の症例だけで約300件の多くの手術を経験することができます。内科系から外科系まで幅広く知識・技術を習得することができ、また研究面においては、南九州に多いとされる成人T細胞性白血病/リンパ腫の進行に関連する遺伝子変異の検索を行っています。地域医療に貢献できる研究や診察を目指しています。

連携施設・関連施設等

県内 県立宮崎病院／千代田病院／古賀総合病院　　**県外** 順天堂大学医学部附属 順天堂医院（東京都）／九州大学病院（福岡県）

［準連携施設］ **県内** 県立延岡病院／国立健康保険西米良診療所／高千穂町国民健康保険病院
椎葉村国民健康保険病院／美郷町国民健康保険西郷病院

ローテーション例

基幹：研修基幹施設での研修
連携：研修連携施設での研修
→県立宮崎病院（宮崎市）、古賀総合病院（宮崎市）、千代田病院（日向市）
大学院（研究）：基礎医学の講座などで研究に専念する期間（２年間まで）
大学院（臨床）：皮膚科を研修しながら研究をする期間

コース	研修１年目	研修２年目	研修３年目	研修４年目	研修５年目
A 基本コース	基　幹	基　幹	連　携	連　携	基　幹
B 連携施設中心コース	基　幹	連　携	連　携	連　携	基　幹
C 社会人大学院コース	基　幹	基　幹（社会人大学院）	連　携（社会人大学院）	基　幹（社会人大学院）	基　幹（社会人大学院）
D 大学院在学中に受験するコース	基　幹	連　携	大学院（研　究）	大学院（研　究）	大学院（研　究）

受験申請 → 専門医試験 → 専門医認定 → サブスペシャルティ修得

※産休・育休の期間は６か月を上限に研修期間として認められます。
※１人医長の期間は最大２年まで研修期間として認められます。
※大学院は基礎系・他科の研修は、最大2年間、皮膚科で研修しながら研究を行っている期間はすべて研修期間として認められます。

週間スケジュール

月曜は終日カンファレンスを行います。専攻医は担当する入院中の受け持ち患者について１週間のウィークリーサマリーのプレゼンテーションを行ってもらいます。また皮膚病理検討会や、外来スライドカンファレンスも行います。英文による抄読会も毎週輪番制で行っています。外来診療について専攻医は教授の外来で陪席についていただきます。そのほか指導医のもと、皮膚科的検査も行います。病棟診療についてはチーム全体で患者を把握できるような体制をとっております。専門医取得のために日本皮膚科学会主催の必須講習会を受講し、年に２回以上筆頭演者として学会発表を行ってもらい、年に１編以上筆頭筆者で論文を作成することを目標にしてもらいます。

曜日	AM	PM
月	病棟回診	カンファレンス、病理・抄読会等
火	手術及び病棟	手術及び病棟
水	外　来	外　来
木	手術及び病棟	手術及び病棟
金	外来	病棟・回診

取得可能な専門医資格等

機構認定皮膚科専門医
日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医
日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **10名**

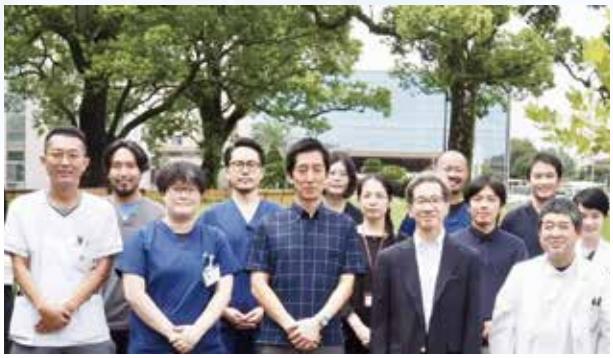
研修期間 **3年**

宮崎大学医学部附属病院

精神科専門研修プログラム

プログラム責任者
精神科・准教授
平野 羊嗣 医師

TEL.0985-85-2969 FAX.0985-85-5475
E-Mail psychweb@med.miyazaki-u.ac.jp
https://www.miyazaki-u-psychiatry.com/



責任者メッセージ

目まぐるしく変化する現代社会のニーズに応えるべく、精神科医の活躍の場は益々増えています。患者さんの悩みや人生に寄り添い、多様性に富んだ人間の心（脳）を診ることができる、一流の精神科医を育てることが我々の最大のミッションです。そのために、当科は個々人の多様性と自由闊達な雰囲気を大切にしています。当科のプログラムは、指導体制が充実した多数の高度な専門医療機関と連携しながら、常にバランスのいい研修ができるように心がけています。また、精神科医として欠かせない科学的な視点を養うためにも、専門医を目指しながら研究に従事できる環境も整えています。我々と一緒に、多様性に富んだ心と人生そのものを支える精神科医を目指してみませんか?

プログラムの特徴

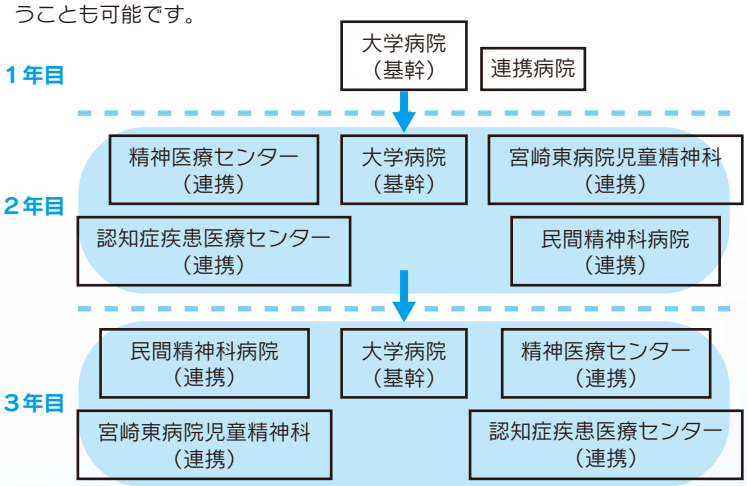
県内多くの精神科医療機関と連携したプログラムです。基幹施設の宮崎大学医学部附属病院精神科では、救急部と連携した精神科救急、身体合併症、難治性精神疾患、器質症状性精神障害、緩和ケア、リエゾンなど学びます。県立宮崎病院、児童思春期の専門医療機関、認知症疾患医療センター、単科精神科病院などをローテートして研鑽を積み、精神保健指定医と専門医を並行して取得することが可能です。また、大学院進学のプログラムもあります。石田康教授の退官に伴い、2024年からはプログラム責任者が平野羊嗣准教授に交代しますが、これまで積み重ねてきた知見に新たな風が加わり、より充実したプログラムをお約束します。

連携施設・関連施設等

県内 県立宮崎病院精神医療センター／国立病院機構 宮崎東病院／井上病院／協和病院／高宮病院／大悟病院／野崎病院／宮崎若久病院／内村病院
国見ヶ丘病院／県南病院／鮫島病院／都城新生病院／田中病院／谷口病院／永田病院／藤元病院／吉田病院／医療法人隆誠会 延岡保養園／若草病院

ローテーション例

１年目は基本的には大学病院で基本的な精神疾患を身体的・器質的疾患の除外や論理的考察を元に経験します。２年目以降は各自の希望に沿ったプランを組むことも可能です。精神保健指定医の症例も３年間で十分経験することができます。また，この時期に学会発表や論文作成の指導を受け，研究に興味を持つ医師は臨床経験に併行して博士課程で博士取得に向けた研究を行うことも可能です。



週間スケジュール

曜日	午　前	午　後
月	病棟業務	病棟業務 病棟行事 入退院カンファレンス
火	病棟業務 外来予診	病棟業務 病棟行事
水	病棟業務 外来予診	病棟業務 集団精神療法
木	病棟業務 外来予診	病棟業務・SST 緩和ケアカンファレンス リエゾンカンファレンス
金	病棟業務 外来予診	病棟業務 抄読会・研究発表会 病棟カンファレンス ラボミーティング

取得可能な専門医資格等

日本精神神経学会専門医・精神保健指定医を取得後は、精神科医としての経験を積みながら、サブスペシャルティを深めることを推奨します。大学病院精神科では、以下の専門医などが取得できます。

日本老年精神医学会認定専門医／日本緩和医療学会専門医
子どものこころ専門医／精神科救急専門医／一般病院連携精神医学専門医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
2名

研修期間
3年

宮崎県立宮崎病院
精神科専門研修プログラム

プログラム責任者
精神医療センター長兼精神科主任部長
河野 次郎 医師

TEL.0985-24-4181 FAX.0985-28-1881
E-Mail miyazaki-hp@pref.miyazaki.lg.jp
http://www.kenritsu-miyazakibyouin.jp

責任者メッセージ

精神科患者の身体疾患の診断や治療を院内の連携により速やかに行ってもらえる環境は、当センターの設立当初からの目標であり、当センターの主たる存在理由です。この環境が、精神科領域の患者の人権を守ることにつながっています。近い将来、精神科も入院は急性期のみで、その後は地域で暮らし、外来で治療することになっていくでしょう。当センターのような精神科病床が、精神科急性期入院治療環境の理想的な形とされるでしょう。精神科で出会う身体的なことを専門の先生に教えてもらえることは貴重です。ここで一緒に働くことで、幅広い精神科領域の土台となる基礎部分をより確かなものにできるだろうと思います。

連携施設・関連施設等

県内 宮崎大学医学部附属病院／吉田病院
医療法人隆誠会延岡保養園／国見ヶ丘病院
協和病院／鮫島病院／田中病院／井上病院
県精神保健福祉センター／国立病院機構宮崎東病院
髙宮病院／野崎病院／宮崎若久病院／若草病院
谷口病院／県南病院／大悟病院／永田病院／藤元病院
都城新生病院／内村病院

県外 九州大学病院／産業医科大学病院／福岡大学病院
久留米大学病院

取得可能な専門医資格等

日本精神神経学会専門医／日本老年精神医学会専門医
日本総合病院精神医学会専門医／精神保健指定医

ローテーション例

	専攻医１年目	専攻医２年目	専攻医３年目
A	宮崎県立宮崎病院 精神医療センター	精神科病院 （１～２カ所選択）	大学病院 （１カ所選択）
	基幹施設１年	連携施設１年 または６ヶ月ずつ	連携施設１年
B	宮崎県立宮崎病院 精神医療センター	大学病院 （１カ所選択）	精神科病院 （１～２カ所選択）
	基幹施設１年	連携施設１年	連携施設１年 または６ヶ月ずつ
C	大学病院 （１カ所選択）	精神科病院 （１～２カ所選択）	宮崎県立宮崎病院 精神医療センター
	連携施設１年	連携施設１年 または６ヶ月ずつ	基幹施設１年

プログラムの特徴

本プログラムは日本精神神経学会の精神科専門医制度専攻医研修マニュアルに基づいています。宮崎県立宮崎病院は500床、24診療科を擁しており、精神医療センターは35床で、コンサルテーション件数は年間600件、措置入院は年間20件を超え、症例は救急と合併症の比率が高く、ほぼ全ての年齢層と疾患群の診断と治療を経験できます。総合病院でありながら、精神保健指定医の申請に必要な経験症例がすべて揃うところが特徴です。

週間・年間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診療 デイケア診察	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診療 デイケア診察	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診療 デイケア診察	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診療 デイケア診察	多職種会議 病棟申し送り・回診 外来・病棟診療 デイケア診察
午後	病棟症例カンファ 病棟診療・作業療法 症例検討会 医局会	病棟症例カンファ 病棟診療・作業療法 行動制限最小化委員会(月１回) 症例指導	病棟症例カンファ 認知症ケア回診 症例指導	病棟症例カンファ 緩和ケア回診・会議 DPAT会議(月１回) 症例指導	宮崎大学セミナー スーパービジョン 症例指導
17:30	院内レクチャー（全科）				

※就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

4･5月	
6月	日本精神神経学会　日本老年精神医学会　宮崎県精神科医会
7月	全国自治体病院協議会精神科特別部会研修会
8月	九州地区11大学合同研修会
9月	日本司法精神医学会
10月	日本精神科救急学会　九州精神神経学会(できれば発表)
	日本摂食障害学会　日本精神病理学会
11月	九州山口自治体病院協議会　日本総合病院精神医学会総会
	日本児童青年精神医学会　日本精神分析学会
12月	宮崎県精神科医会(できれば発表)
1月	宮崎県災害派遣精神医療チーム(DPAT)構成員研修会
2月	
3月	日本社会精神医学会

※いずれかの学会に一度は参加する。

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **3名**

研修期間 **3年**

医療法人建悠会　吉田病院

精神科専門研修プログラム

プログラム責任者
理事長・院長
吉田 建世 医師
TEL.0982-37-0126 FAX.0982-37-0233
E-Mail kenyukai@sunny.ocn.ne.jp
https://yoshidahospital.or.jp

責任者メッセージ

本院は、地域の精神科中核病院として、認知症疾患医療センター、認知症初期集中支援チーム設置、アルコール健康障がい専門医療機関、医療観察法指定通院医療機関の指定を受けており、宿泊型自立訓練施設、グループホームを有し、また延岡市南部地域基幹相談支援センター、延岡市地域活動支援センターを運営して、ピアサポート活動にも積極的に取り組んでおります。

本プログラムでは、３年間を通して、地域における精神科救急・急性期治療から、慢性患者の地域移行、地域生活援助・就労支援まで、多職種チームによる一連の治療プログラムを学んでいただき、また加えて、身体合併症やリエゾン医療、専門的なアルコール依存症、認知症、てんかんの治療やうつ病のリワークプログラム、自殺対策、精神鑑定など、臨床精神科医として必要な様々な知識が学べるものと考えております。

プログラムの特徴

本プログラムでは、急性期から慢性期、児童から老年期、任意入院から措置入院など３年間のプログラムの中で各施設をローテートすることによって多彩な症例を経験することができる。また幅広い地域社会の中での実践活動をおこなっており、社会で生活する精神障害者をどのように支えるのかといった、これからの我が国に求められる社会福祉、地域医療の現場を実際に体験することができる。

連携施設・関連施設等

県内　医療法人清芳会井上病院／医療法人同仁会谷口病院
医療法人望洋会鮫島病院

取得可能な専門医資格等

精神科専門医

ローテーション例

		専攻医１年目	専攻医２年目		専攻医３年目	
Aコース	施設	吉田病院（基幹）		井上病院	鮫島病院	吉田病院（基幹）
	研修期間	１年６ヶ月		６ヶ月	６ヶ月	６ヶ月
Bコース	施設	吉田病院（基幹）		谷口病院	井上病院	吉田病院（基幹）
	研修期間	１年６ヶ月		６ヶ月	６ヶ月	６ヶ月
Cコース	施設	吉田病院（基幹）	鮫島病院	谷口病院	吉田病院（基幹）	
	研修期間	１年	６ヶ月	６ヶ月	１年	

週間スケジュール

曜日	午　前	午　後
月	外来業務	病棟業務（回診含む）
火	外来業務	病棟業務（回診含む）
水	外来業務	外来・病棟業務
木	外来業務	外来・病棟業務
金	外来業務	外来・病棟業務

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
10名

研修期間
3年

宮崎大学医学部附属病院
外科専門研修プログラム

プログラム責任者
肝胆膵外科学分野・教授
七島 篤志 医師

TEL.0985-85-2291 FAX.0985-85-5563
E-Mail mhiyoshi@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/

責任者メッセージ

宮崎大学医学部外科が誇る革新的な大講座制度プログラムに、あなたの若々しい独創性を織り交ぜましょう！外科医への課題として地方での専門医不足がありますが、逆に、都市部での研修に比べて個々のチャンスが多いと捉えることができます。その他、働き方改革や女性外科医への環境整備がありますが、これらに対して既に取り組んでおり、過重労働を解消して、ワークライフバランスに配慮しています。また、外科領域では、デジタル技術やAIなどが急速に進歩しており、これらを活用することで効率化を図り、外科医が本来求められてきた生命を救う真の能力を発揮できるようにしています。外科の専門医制度では、最終的なサブスペシャルティ全ての領域を統括し、今後はさらに専門領域へと一元管理が拡大される予定です。さあ、技術と知恵と、まだ見ぬ外科医としての未知の能力を兼ね備えた皆さん、我々と一緒に世界を地域から支えて発展させていきましょう。

プログラムの特徴

宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、連携施設には宮崎県で有数の研修病院・拠点病院・救急病院として知られる複数の病院が連携施設になっています。病院の規模や地域性が異なり、幅広い経験が可能です。宮崎大学外科専門研修プログラムの関連施設全体での手術総数は約20,000件です。大学病院の手術は軒並み増加しバラエティ豊かに発展中。分野間の連携良く、将来何事にも対応できる専門医をめざせます。

連携施設・関連施設等

県内 県立宮崎病院／県立日南病院／県立延岡病院／宮崎市郡医師会病院／都城市郡医師会病院／宮崎県済生会日向病院／串間市民病院
潤和会記念病院／千代田病院／古賀総合病院／南部病院／宮崎生協病院／黒木病院／さがら病院宮崎／国立病院機構 宮崎東病院
宮崎善仁会病院／国立病院機構 都城医療センター／小林市立病院

県外 新行橋病院（福岡県）

ローテーション例

外科専門医は初期臨床研修修了後、3年（以上）の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。下図に宮崎大学外科研修プログラムの1例を示します。専門研修1年目は基幹施設、2年目連携施設、専門研修3年目は基幹施設や連携施設での研修です。3年目以降の研修は2年次終了時の達成度合いで、研修内容を検討いたします。

1年次	2年次	3年次	4年次以降
基幹施設	連携施設	基幹施設	基幹施設や連携施設

外科専門医研修 →
サブスペシャルティ領域など専門医研修 →
大学院コースまたは外科系臨床腫瘍医養成コース →

サブスペシャルティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した年の年度初めに遡ってサブスペシャルティ領域専門研修の開始と認める場合があります。専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われます。

取得可能な専門医資格等

卒後10～15年 3階	食道外科専門医	大腸肛門病学会専門医	肝胆膵外科高度機能専門医	心臓血管外科修練指導者	呼吸器外科評議員	小児外科指導医	乳腺外科指導医	内分泌外科指導医
卒後 7～10年 2階	消化器外科専門医			心臓血管外科専門医	呼吸器外科専門医	小児外科専門医	乳腺外科専門医	内分泌外科専門医
卒後 4～7年 1階	外科専門医							

1階建て部分の外科専門医を3年で取得し、引き続いて2階、3階建て部分の各サブスペシャルティ専門医に速やかに移行していきます。外科医師に求められる 基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術を習得します。

週間スケジュール

時間	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス	カンファレンス	抄読会、勉強会	カンファレンス	カンファレンス
午前	病棟業務 外来	病棟業務 外来	病棟業務 外来	病棟業務 外来	病棟業務 外来
午後	外来・総回診	外　来	外　来	外　来	外　来
9:00～	手　術	手　術	手　術	手　術	手　術
夕方	放射線診断合同 カンファレンス	医局全体 ミーティング	内科外科合同 カンファレンス 医局全体ミーティング	病理合同 カンファレンス	病理合同 カンファレンス

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **2名**

研修期間 **3年**

宮崎県立宮崎病院

外科専門研修プログラム

プログラム責任者
副院長（業務）兼外科主任部長
大友 直樹 医師
TEL.0985-24-4181 FAX.0985-28-1881
E-Mail miyazaki-hp@pref.miyazaki.lg.jp
http://www.kenritsu-miyazakibyouin.jp

責任者メッセージ

宮崎市中心部に位置し、高度・急性期医療の中核を担っている宮崎県立宮崎病院は、24診療科を有し、豊富な臨床経験を持つ専門医が多数在籍しております。もちろん外科各領域別にも在籍しており、懇切丁寧な指導の下、研修を通じて様々な症例を経験することができます。本プログラムでは、通常の基本コースに加え、キャリア形成プログラムに適したコースや県立３病院で研修を行うフェニックスコース等、専攻医の背景、目的に応じ柔軟なプログラムの提供が可能です。

我々外科は、『縁の下の力持ちになろう』を理念に掲げ、宮崎県の医療を支えています。是非、宮崎県立宮崎病院外科医員の一員として一緒に働きましょう。

プログラムの特徴

本プログラムでは宮崎県立宮崎病院を基幹施設とし、地域の連携施設とともに病院施設群を構成しています。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。基幹施設のみならず地域の連携病院で多彩な症例を多数経験することで、医師として必要な基本的診療能力及び外科領域の専門診療能力の修得、知識・技能・高い倫理性を備えた外科専門医を育成することを目標とします。

連携施設・関連施設等

県内 宮崎大学医学部附属病院／宮崎県立延岡病院／宮崎県立日南病院／串間市民病院
さがら病院宮崎／小林市立病院／藤元総合病院

県外 九州大学病院

ローテーション例

＜基本コース＞

１年目	２年目	３年目	４年目以降
県立宮崎病院	県立宮崎病院	連携施設	３県立病院より選択

＜フェニックスコース＞

１年目	２年目	３年目	４年目以降
県立日南病院	県立延岡病院	県立宮崎病院	３県立病院より選択

＜宮崎県キャリア形成プログラムコース＞

１年目	２年目	３年目	４年目以降
県立宮崎病院	県立宮崎病院	串間市民病院	C群３年半　３県立病院半年

※Ｃ群とは宮崎県の定めるへき地医療施設を指します

週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	外来 病棟業務 手術	病棟業務 手術 キャンサーボード レクチャー
火	外来 病棟業務 手術	病棟業務，手術 疾患グループ回診 放射線診断・ 病理合同カンファ
水	外来 病棟業務 手術	病棟業務 手術 疾患グループ回診
木	外来 病棟業務 手術	病棟業務 手術 疾患グループ回診
金	外来 病棟業務 手術	病棟業務，手術 疾患グループ回診 症例カンファ 総回診

取得可能な専門医資格等

消化器外科専門医／乳腺専門医／呼吸器外科専門医／腎移植専門医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
6名

研修期間
4年

宮崎大学医学部附属病院

整形外科専門研修プログラム

プログラム責任者
整形外科・教授
帖佐 悦男 医師

TEL.0985-85-0986 FAX.0985-84-2931
E-Mail seikei@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/ortho/

責任者メッセージ

宮崎の自然や人は最高です。また、柔軟性のある理想的教育環境や研修カリキュラム、気軽に相談できる多くの指導医がいます。是非、一緒に研修し世界を視野に地域から始めましょう。南国宮崎の自然と人があなたを待っています！

プログラムの特徴

本プログラムは３年９ヶ月の研修を義務付けており、４年目の12月で終了し、1月に専門医試験を受験します。当科のプログラムの特徴は、

- 1年目は大学病院で研修します。
- ２～３年目は地域中核病院または宮崎市内の連携病院で、主に一般整形外科・外傷を学び外来～手術～後療法の主治医となります。この時期に地域医療も研修します。
- ３年９か月の研修後に、大学院希望者は大学院コースへ、subspeciality希望者は大学を含む連携病院での研修が選択できます。
- 専門医取得後、海外・国内留学などを推奨しています。また、各種競技の帯同ドクター、スポーツ現場での活動や日本スポーツ協会公認スポーツドクターの取得も推奨しています。
- 女性医師へのサポート体制も整えています。産休・育休の取得はもちろんのこと、家庭の状況に応じて勤務形態を選択することができ、女性にも優しいプログラムになっています。

連携施設・関連施設等

県内 高千穂町国民健康保険病院／県立延岡病院／宮崎県済生会日向病院／県立こども療育センター／宮崎市立田野病院／宮崎市郡医師会病院
地域医療機能推進機構 宮崎江南病院／串間市民病院／県立日南病院／都城市郡医師会病院／国立病院機構 都城医療センター
えびの市立病院／国立病院機構 宮崎病院／千代田病院／藤元総合病院／橘病院／野崎東病院／宮崎善仁会病院／潤和会記念病院
小林市立病院／なんごう病院

県外 球磨郡公立多良木病院

ローテーション例

専門医取得までのタイムスケジュール

1年目 → 2年目 → 3年目 → 4年目 → 専門医取得後

大学病院 | 地域中核病院 地域中小病院 各連携病院 | 大学病院 各連携病院（22施設）

大学院コース
あらゆる臨床研究
バイオメカニクス
遺伝子組換えマウスを使った疾患遺伝子解析

サブスペシャルティならびに取得可能な資格
日本脊椎脊髄病学会指導医
日本手外科学会専門医
リウマチ専門医（日本整形外科学会・日本リウマチ学会）
日本スポーツ協会公認スポーツドクター
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医
日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学会ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ認定臨床医
日本障がい者スポーツ協会障がい者スポーツ医
日本骨粗鬆症学会認定医

週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	手　術	手　術
火	外　来	外来・病棟業務
水	外　来	検　査
木	手　術	手術・術前カンファ
金	外来・抄読会	術後カンファ・回診・医局会

取得可能な専門医資格等

＜取得可能専門医＞
日本整形外科学会整形外科専門医／日本リハビリテーション医学会リハビリテーション専門医
＜サブスペシャルティ＞
日本脊椎脊髄病学会指導医／日本リウマチ学会専門医／日本手外科学会専門医
＜取得可能な資格＞
日本スポーツ協会公認スポーツドクター／日本リハビリテーション医学会リハビリテーション認定臨床医
日本障がい者スポーツ協会障がい者スポーツ医／日本医師会健康スポーツ医
日本人工関節学会認定医／日本骨粗鬆学会認定医／日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会関節鏡技術認定医

詳細はQRコードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **2名**

研修期間 **4年**

宮崎県立宮崎病院

整形外科専門研修プログラム

プログラム責任者
副院長（業務）兼整形外科主任部長
阿久根 広宣 医師
TEL.0985-24-4181 FAX.0985-28-1881
E-Mail miyazaki-hp@pref.miyazaki.lg.jp
http://www.kenritsu-miyazakibyouin.jp

責任者メッセージ

整形外科専門医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、日々進歩する医学の新しい知識と技術の修得に邁進し、高い診療実践能力を有する医師でなければなりません。宮崎県立宮崎病院は宮崎東諸県医療圏のみならず全県下における中心的な急性期病院であり、高齢化の進んでいる宮崎県では、整形外科の果たす役割が今後ますます大きくなることが予想されます。従って、質の高い整形外科医療が求められ、それを担う人材の育成が必要となります。本プログラムでは、九州大学およびその関連施設と連携しながら、宮崎県の地域医療に貢献できるプライマリ・ケアから療養・介護を含む老人医療を担える、幅の広い視野を持った整形外科医を育てることを目標とします。

プログラムの特徴

宮崎県の中心的急性期病院である宮崎県立宮崎病院は、九州大学整形外科およびその関連施設と連携し、専門研修ができるように配慮されています。大学、施設、病院からなる40を超える連携施設は、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、リハビリなどそれぞれに特色を持った治療を行っています。それら施設と連携し研修することにより、多くの手術症例を経験・執刀し、研修修了後には自立した整形外科医として診療が出来ることを目指します。

連携施設・関連施設等

県内 千代田病院

県外 九州大学病院／九州医療センター／九州がんセンター／JCHO登別病院／麻生飯塚病院
広島赤十字・原爆病院／九州労災病院／大分赤十字病院／佐賀県医療センター好生館 他

ローテーション例

	専攻医１	専攻医２
１年目	県立宮崎病院	連携施設Ｅ
２年目	連携施設Ａ	県立宮崎病院
	連携施設Ｂ	
３年目	連携施設Ｃ	連携施設Ｆ
		連携施設Ｇ
４年目	連携施設Ｄ	連携施設Ｈ

週間スケジュール

曜日	AM	PM	
月	外　来	総回診	術後カンファ
火	外来・手術	手　術	専攻医 症例検討会
水	外　来	外　来	術前カンファ
木	外来・手術	手　術	新患カンファ
金	外来・手術	手　術	急患症例 カンファ

取得可能な専門医資格等

日本整形外科学会　専門医
日本整形外科学会認定　脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定　スポーツ医
日本整形外科学会認定　リウマチ医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
2名

研修期間
4年

一般財団法人弘潤会　野崎東病院

宮崎県地域整形外科専門研修プログラム

プログラム責任者
院長
久保 紳一郎 医師
TEL.0985-28-8555
E-Mail kodama@koujunkai.jp
https://www.koujunkai.jp/nozaki_h/

責任者メッセージ

当院では、主に常勤4名・非常勤1名の整形外科専門医により脊椎・スポーツ外傷・各種人工関節等に対する手術が年間実績として500症例以上行われています。

また、リハビリテーション部門として体育館を有するアスレティックリハビリテーションセンターが併設され、スポーツ整形に興味のある先生方にとって良い経験が得られることかと思っています。

大病院ではありませんので、重症例や救急外来の経験はできませんが、その分、手術手技や保存治療の研修・研鑽に落ち着いて取り組める環境ではないかと考えています。

プログラムの特徴

宮崎県地域整形外科専門研修プログラムは、到達目標を「地域医療にも貢献できる幅広い知識と視野をもった整形外科医師の育成」としており、宮崎大学医学部附属病院と連携しながら、県全体の地域医療に貢献できるプライマリ・ケアから療養・介護を含む老人医療を担える、幅広い視野をもった整形外科医を育成することを目標としています。

取得可能な専門医資格等

整形外科専門医

連携施設・関連施設等

県内　宮崎大学医学部附属病院／宮崎江南病院／県立こども療育センター／千代田病院／県立日南病院

ローテーション例

研修病院別ローテーション表例

医療機関	1年目		2年目		3年目		4年目	
野崎東病院	専攻医1					専攻医2	専攻医2	専攻医1
千代田病院		専攻医1			専攻医2			
宮崎県立こども療育センター			専攻医1	専攻医2				
宮崎江南病院		専攻医2		専攻医1				
宮崎県立日南病院			専攻医2		専攻医1	専攻医1		
宮崎大学医学部附属病院	専攻医2						専攻医1	専攻医2

医師不足地域中小病院
医師不足地域中核病院

それぞれ連携するⅠ型基幹宮崎大学医学部附属病院での6ヶ月間の研修を行ないます。また、地域枠専攻医の研修に配慮し、専攻医1のパターンでは、基幹病院以外は主に医師不足地域中小病院を中心に研修し、中核病院での研修をプログラムの再確認に当てます。

週間スケジュール

曜日	午　前	午　後
月	外来・術前検査	外来・術前検査
火	外来・手術	外来・手術
水	外　　来	外　　来
木	外　　来	外　　来
金	外来・手術	外来・手術

月曜日～金曜日　病棟（病室）ラウンド等
随時：術前・後，入・退院，症例のカンファレンス

詳細はQRコードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **10名**

研修期間 **3年**

宮崎大学医学部附属病院

産婦人科専門研修プログラム

プログラム責任者
産婦人科・教授
桂木 真司 医師
TEL.0985-85-0988 FAX.0985-85-6149
E-Mail koutarou_doi@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/obgyn/

責任者メッセージ

当科では臨床医かつ研究者として幅広く活躍できる人材の育成を目標としています。産科、婦人科ともに症例が豊富でチーム医療を通じて高度な技術や診断能力を高める事ができます。周産期、婦人科、新生児領域における研究も盛んであり、臨床と研究の両立も盛んであり、働き方改革を意識した勤務時間にも留意しています。女性：男性＝６：４程度で育児中の若いママさん先生も多く活躍し、医局全体が明るく楽しく仕事ができる診療科です。次世代を築く若い先生方と臨床の喜びを共有できる日がくる事を心まちにしています。

プログラムの特徴

専攻医1年目は大学病院で産科、婦人科、新生児領域をローテーションし、各領域の基本的な知識と手技を身につけます。専攻医2～３年目は県内の関連施設(地域周産期センター)を中心に研修を行います。各施設では基礎的な多くの症例を経験することができます。大学病院で比較的症例の少ない内視鏡手術や不妊症の分野は関連施設で経験できるようプログラムは作成され、3年間で専攻医申請に十分な症例が得られます。またこの期間に経験した症例について全国学会での発表、論文の作成を行います。専攻医4年目には産婦人科専門医を受験し資格取得が可能です。

連携施設・関連施設等

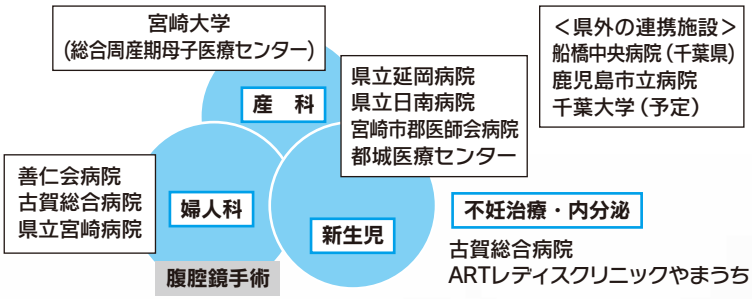
県内 県立宮崎病院／県立延岡病院／県立日南病院
国立病院機構 都城医療センター／宮崎市郡医師会病院
古賀総合病院／宮崎善仁会病院
ARTレディースクリニックやまうち

県外 鹿児島市立病院（鹿児島）
地域医療機能推進機構 船橋中央病院（千葉）
三重大学医学部附属病院（三重）
九州大学病院（福岡）

ローテーション例

宮崎大学を中心とした周産期医療の教育に加え、婦人科、生殖医療の研修が可能です。専攻医１年目は宮崎大学で２年目以降は宮崎県内の数か所の施設での研修を行います。

宮崎大学 産婦人科　専攻医キャリアデザイン



取得可能な専門医資格等

日本産科婦人科学会専門医
日本周産期新生児学会　周産期専門医（母体・胎児、新生児）
日本婦人科腫瘍学会　婦人科腫瘍専門医
日本産科婦人科内視鏡学会　婦人科内視鏡技術認定医
日本人類遺伝学会　臨床遺伝専門医
日本生殖医学会　生殖医療専門医
日本内分泌学会　内分泌代謝専門医
日本胎児心臓超音波学会　胎児心臓超音波専門医
母体保護法指定医
上記以外も含め、多岐にわたる分野の専門医資格が習得可能です。

週間スケジュール

曜日	朝	午前	午後	夕方
月	関連病院合同症例カンファレンス	病　棟	回　診	
火	新生児科症例カンファレンス	手術／病棟	手術／病棟	
水	リサーチカンファ研究結果発表会	病　棟	病　棟	病理部門合同カンファレンス
木	産科症例カンファレンス	手術／病棟	手術／病棟	
金	婦人科症例カンファレンス	病　棟	病　棟	

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
3名

研修期間
3年

宮崎県立延岡病院

産婦人科専門研修施設群専門研修プログラム

プログラム責任者
産婦人科・周産期科主任部長
大塚 晃生 医師
TEL.0982-32-6181
E-Mail nobeoka-hp@pref.miyazaki.lg.jp
http://nobeoka-kenbyo.jp/recruitment/20230911/8041/

責任者メッセージ

当院は宮崎県北地域唯一の産婦人科中核病院であり、地域の開業産婦人科医と連携して診療を行っています。

NICU運営を含む周産期医療、婦人科手術、集学的癌治療が中心です。生殖補助医療は県北地区の専門施設と連携して研修ができるように体制を整えています。

狭い医療圏につき開業の先生方との顔の見える診療連携が可能で、緊急搬送された患者さんも落ち着いたら紹介元に返すBack transferを頻繁に行い病床の有効活用を行っています。地域に根ざした臨床を行いながら十分な量の症例のある病院です。ぜひ当院での研修を待っています。

プログラムの特徴

NICU管理を含めた周産期医療を学べること、手術症例数が多いこと、集学的癌治療も学べること、生殖補助医療は近辺の開業医での研修ができること、また、宮崎大学での研修もできること。

連携施設・関連施設等

県内 宮崎大学医学部附属病院／県立日南病院／国立病院機構都城医療センター／宮崎市郡医師会病院
宮崎善仁会病院／古賀総合病院／ARTレディースクリニックやまうち

ローテーション例

病棟管理、NICU管理、外来診療、手術を診療科内のスケジュールで研修していただきます。生殖補助医療は１～２回／週の研修を予定しています。

週間スケジュール

曜日		朝	夕
月	外来・回診	勉強会	術前検討会
火	手術日		
水	外　来	勉強会	術前検討会
木	手術日		
金	外来・症例検討会（カンファレンス）	勉強会	

取得可能な専門医資格等

産婦人科専門医
周産期専門医（産科、新生児）

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **4名**

研修期間 **4年**

宮崎大学医学部附属病院

眼科専門研修プログラム

プログラム責任者
眼科・教授
池田 康博 医師

TEL.0985-85-2806 FAX.0985-84-2065
E-Mail takako_hidaka@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/ophtha/

責任者メッセージ

宮崎大学医学部眼科学教室は、1976年に創設された比較的若い教室です。医局員は30名と少しずつ増えてきておりますが、教授・准教授から研修医までがいつも顔を合わせながら、アットホームな雰囲気の中で日々の診療・教育に励んでいます。

広大な宮崎県の眼科医療を当教室が支えています。白内障や緑内障のような一般的な疾患だけでなく、小児眼科、瞼や涙道の疾患などといったあらゆる眼疾患に対し、高いレベルを保ちながら診断から治療までを実践しています。眼科学を楽しめる環境を整備することで、若い先生には少しでも早く一人前に育ってもらい、宮崎県の眼科医療を支えて欲しいと思っています。

プログラムの特徴

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。宮崎大学眼科専門研修プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

1．一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
2．一般診療所の医師のみならず総合病院の眼科医としてやっていけるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で　活躍できる眼科医
3．診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医

連携施設・関連施設等

県内　県立宮崎病院／県立日南病院／済生会日向病院
宮崎中央眼科病院／宮田眼科病院

県外　九州大学病院／JCHO九州病院／飯塚病院

ローテーション例

４年間の研修期間中、１年目、あるいは２年目のどちらかを専門研修基幹施設である宮崎大学医学部附属病院で研修します。1，２年目は宮崎大学医学部附属病院、連携する県内の中核病院のいずれかで研修を行い、３年目以降は宮崎大学医学部附属病院、県内の中核病院、もしくは福岡県の中核病院で研修します。

専門研修開始

	１年目	２年目	３年目	４年目		専門医取得後	
初期臨床研修	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	専門医取得	宮崎大学附属病院	指導医取得
	県内中核病院	県内中核病院	県内または福岡中核病院	県内または福岡中核病院		中核病院での勤務	
			大学院へ進学・研修	大学院へ進学・研修		国内・海外留学	

週間スケジュール

曜日	午　前	午　後
月	手　術 専門外来（緑内障）	手　術 専門外来（緑内障） 病棟業務
火	病棟回診 外来業務	外来業務 専門外来（未熟児網膜症） 病棟業務 手術カンファ
水	手　術 専門外来 （小児・斜弱・神経眼科） （ぶどう膜炎）	手　術 専門外来 （小児・斜弱・神経眼科） （ぶどう膜炎） 病棟業務
木	病棟回診 外来業務	外来業務 専門外来（角膜） 病棟業務 症例検討会
金	手　術 専門外来 （黄斑変性） （未熟児網膜症）	手　術 専門外来（黄斑変性） （未熟児網膜症） 病棟業務

取得可能な専門医資格等

眼科専門医
神経眼科相談医
眼科PDT認定医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

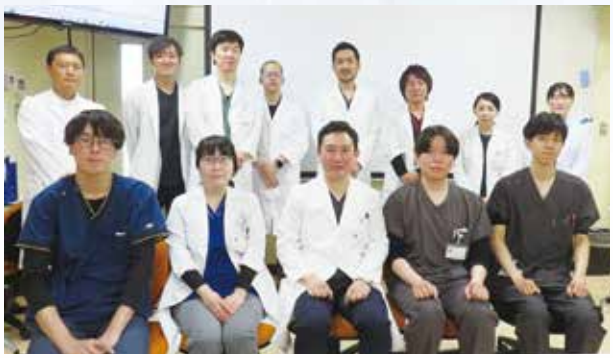
募集定員
3名

研修期間
4年

宮崎大学医学部附属病院

耳鼻咽喉科専門研修プログラム

プログラム責任者
耳鼻咽喉科・教授
髙橋 邦行 医師
TEL.0985-85-2966 FAX.0985-85-7029
E-Mail takeshi_nakamura@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/jibika/



責任者メッセージ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の範囲は、生命・機能維持に関する多くの感覚器、運動器があり、内科的、外科的な両面から、生活の質（Quality of life）の改善、健康増進を目指しています。めまい、感染症、アレルギー性疾患から、人工聴覚器のような先進医療、気道緊急などの救急疾患、悪性腫瘍に対する集学的治療まで、さまざまな分野に対応しています。映像の共有、シミュレーション手術も用い、レベルに合わせた屋根瓦方式な指導で、若いうちより安全、確実に技術の獲得ができます。医療者自身が健康で楽しく仕事をできないと、患者さんの健康を守ることができません。当科では組織として互いにリスペクトし、楽しく仕事ができる環境を実践しています。

プログラムの特徴

耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門医としての知識・技能・医療倫理を兼ね備えた医師を養成しつつ、宮崎県の地域医療充実と質の向上に貢献することを目的としています。宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室を中心とする連携研修施設群において、耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムであると同時に、学会発表や学術論文作成を通じて自然科学者としてのリサーチマインドも重視します。また、地域の医療情勢の理解、他大学との技術交流、人材交流の目的で、琉球大学、東京慈恵会医科大学、国際医療福祉大学との連携も選択可能です。

連携施設・関連施設等

連携施設Ⅰ
地域医療を担う病院：指導医1名以上、スタッフ1名以上年間手術研修150件以上
県内 県立宮崎病院／国立病院機構 都城医療センター
宮崎善仁会病院

連携施設Ⅱ
他大学病院（様々な地域の中心的存在として機能している。基幹施設だけで習得することのできない、地域性豊かでかつ専門性の高い最先端の医療を経験できる。）
県外 琉球大学医学部附属病院（沖縄県）／東京慈恵会医科大学附属病院（東京都）
国際医療福祉大学成田病院（千葉県）

ローテーション例

コース	1 年	2 年	3 年	4 年
基本コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地域医療施設	宮崎大学附属病院
国内留学コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	他大学連携施設	宮崎大学附属病院
基礎研究展開コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地域医療施設	宮崎大学大学院
地域枠キャリア形成コース	宮崎大学附属病院	地域医療施設	地域医療施設	宮崎大学附属病院

週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	手　術	手　術
火	MENTOR朝ゼミ 抄読会	手　術 外勤：発達支援センター
	外　来	
水	手　術 聴覚支援 外　来	手　術 聴覚支援 外　来
木	症例検討会 病棟回診	放射線科合同カンファレンス
	外　来	医局会 MENTORタゼミ
金	手　術	手　術 外勤：田野病院

取得可能な専門医資格等

耳鼻咽喉科専門医：耳、鼻、口腔咽喉頭、頭頸部全ての領域において「標準的医療を提供できる」耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムです。

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **6名**

研修期間 **4年**

宮崎大学医学部附属病院

泌尿器科専門研修プログラム

プログラム責任者
泌尿器科・教授
賀本 敏行 医師

TEL.0985-85-2968 FAX.0985-85-6958
E-Mail urology@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/urology/

責任者メッセージ

当泌尿器科領域にはその他にも数多くの疾患がありますが、専門研修においては宮崎県の中で広く身につけていただくようなプログラムを作成しています。４年間で専門医を取得した後には、基礎研究に興味がある先生には大学院に進学していただきます。また国内の他の施設との人事交流も積極的に行っています。

医師として長く納得して仕事をするためには、診療の“実力”を身につけること、良き人間関係の構築、そして何より“家族”が大事です。そのためには医局の雰囲気が最も重要だと思っています。当教室の医局員の皆さんは気持ちの良い先生ばかりで、大変良い雰囲気で仕事ができています。大学病院では“大学病院ですべき領域”を明確にし、連携施設との役割分担、緊密な医療ネットワークを活用して、高いレベルで泌尿器科診療を行なっていると自負しています。日本のトップレベルの泌尿器科になるために是非力を貸してください。

プログラムの特徴

宮崎大学泌尿器科専門研修プログラムは宮崎大学医学部附属病院を中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるよう配慮しました。宮崎県のキャリア形成プログラムにもしっかり対応しております。

連携施設・関連施設等

県内 県立延岡病院／県立日南病院／藤元総合病院
野崎東病院／千代田病院／おがわクリニック
串間市民病院／潤和会記念病院／古賀総合病院
小林市立病院／川南病院

県外 熊本大学医学部附属病院（熊本県）
済生会熊本病院（熊本県）／人吉医療センター（熊本県）

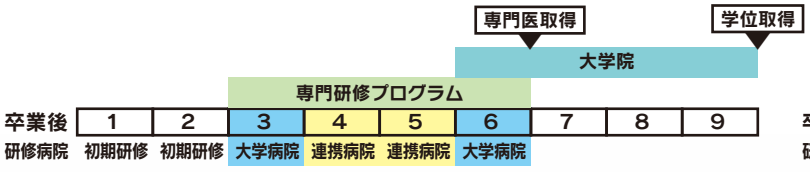
ローテーション例

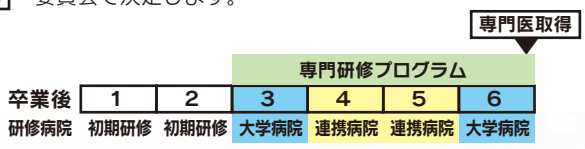
大学院進学コース

大学院進学コースにおいては専門研修４年次において大学院へ入学する。病棟や外来業務は従来と同様に行うが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行う。本コースを選択した場合は卒後6年間で専門医の取得が可能で９年間で学位を取得することが可能です。

臨床修練コース

臨床修練コースにおいても原則的には２－３年目を研修連携施設で研修し４年目に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により２年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム委員会で決定します。





週間スケジュール

曜日	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス	抄読会			カンファレンス
午前	外来診察・入院患者処置	外来診察・入院患者処置	手　術	外来診察・入院患者処置	手　術 外来診察・入院患者処置
午後	外来診察・入院患者処置	カンファレンス・回診	手　術	外来診察・入院患者処置	手　術
夕方	小児泌尿器科カンファレンス（第２月曜）	病理カンファレンス（隔週）			

取得可能な専門医資格等

泌尿器科専門医、指導医
癌治療認定医
泌尿器腹腔鏡技術認定
日本内視鏡外科技術認定（泌尿器科領域）
日本小児泌尿器科学会認定医
da Vinci Xi surgical system certificate

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
3名

研修期間
4年

宮崎大学医学部附属病院

脳神経外科専門研修プログラム

プログラム責任者
脳神経外科・教授
竹島 秀雄 医師

TEL.0985-85-3128 FAX.0985-84-4571
E-Mail miyazakineuros@gmail.com
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/neurosurgery/

責任者メッセージ

宮崎大学における脳神経外科専門医の取得を目指すプログラムです。専門医取得のための症例数や診療・手術経験は、このプログラムで十分に充足させることができますし、非常に高い合格率を誇っています。これを通過点として、血管内治療学会専門医などのサブスペシャルティの専門医資格や研究・留学などで更に飛躍を目指す若手医師を募集しています。時に厳しいものの恵まれた自然と暖かい人間関係のもとで、自分の可能性を大きく羽ばたかせてみませんか。

プログラムの特徴

本プログラムは宮崎県唯一の脳神経外科専門医を目指すプログラムです。原則的に宮崎県内での連携施設および関連施設のみで完結するコンパクトな研修システムですが、必要に応じて、他大学（熊本大学、大分大学）を関連施設として補充するものです。加えて基幹施設（宮崎大学）では脳腫瘍の遺伝子診断を基にテーラーメイドで治療方針を決定するなど、将来基礎・臨床研究面への橋渡しも考慮しています。手術設備についても手術用顕微鏡以外に内視鏡、外視鏡、ナビゲーションシステム、光線力学的治療装置など最先端機器を導入しその技術習得が可能です。また研修期間中も宮崎大学大学院医学獣医学研究科（博士課程）に社会人学生として在籍し、高度臨床医育成コースにおいて臨床研究に携わることが可能です。

連携施設・関連施設等

県内 県立宮崎病院／県立日南病院／都城市郡医師会病院
潤和会記念病院／金丸脳神経外科病院／池田病院
［関連施設］ 和田病院

県外 熊本大学医学部附属病院（熊本県）
大分大学医学部附属病院（大分県）

ローテーション例

当プログラム開始１年目（卒後３年目）は基幹施設（大学病院）で研修を開始します。２年目、３年目は連携施設もしくは関連施設で１年間ずつ臨床医師として訓練を積み、４年目で基幹施設に戻り研修を継続、５年目（卒後７年目）の夏に脳神経外科専門医試験（筆記および口頭試問）受験となります。脳神経外科専門医資格取得後はサブスペシャルティとして脳血管内治療専門医や脳卒中専門医などを任意で目指して頂きます。

専攻医 6年以降	脳卒中専門医、脳血管内治療専門医、脳卒中の外科技術認定医、脳髄外科認定医、神経内視鏡技術認定医、小児神経外科専門医、機能的定位脳手術技術認定医などサブスペシャルティ部門の資格取得	大学院 国内・海外留学
5年目	脳神経外科専門医試験受験	
4年目	基幹施設での研修	
3年目	連携／関連施設での研修	
2年目	連携／関連施設での研修	
専攻医 1年目	基幹施設での研修	

週間スケジュール

	午前					午後	
	7:30～	8:00～	8:30～	9:30～	10:00～	13:00～	17:00～
月	抄読会	カンファレンス		病棟			
火	回診	手術					
		病棟					
水	カンファレンス			総回診	病棟		
木	回診	手術					
		病棟					
金	回診		手術				
			病棟				

取得可能な専門医資格等

日本脳卒中学会専門医／日本脳神経血管内治療学会専門医
日本脳卒中の外科学会技術認定医／日本神経内視鏡学会技術認定医
日本脊髄外科学会専門医／日本小児神経外科学会認定医
日本癌治療認定医／機能的定位脳手術技術認定医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **5名**

研修期間 **3年**

宮崎大学医学部附属病院

放射線科専門研修プログラム

プログラム責任者
放射線科・教授
東 美菜子 医師
TEL.0985-85-2807 FAX.0985-85-7172
E-Mail minako_azuma@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/radiology/

責任者メッセージ

放射線診断（画像診断、核医学、IVR）と放射線治療からなる放射線医学分野では、技術革新が著しく、人工知能（AI）の研究も進み、より高精度で安全な検査・治療を可能にする技術が開発され、臨床応用されています。我々放射線科は、様々な技術を駆使して、各診療科のニーズに応じ、あらゆる年齢・臓器を対象とした適切な放射線診療を提供することに日々励んでおります。宮崎の放射線診療の充実を目的とした人材育成に力を入れ、チーム医療の一員としての心構えや各診療科医師やコメディカルとのコミュニケーションスキル、放射線診療の知識と技術を習得できるような充実した研修プログラムを作成し、教育を行っています。最先端の画像技術やAIを用いた研究を行っており、リサーチマインドの育成にも取り組んでおります。

プログラムの特徴

本プログラムは、放射線診断医・放射線治療医となるために必要な研修を、基幹病院と連携施設で行い、幅広い知識と経験を得ることを目的としています。基幹病院では、放射線診断（画像診断・核医学・IVR）・放射線治療のトレーニングを幅広く受け、症例報告を含む学会発表の経験を積み、海外での学会発表や論文作成を目指します。連携施設では、救急疾患や日常よく遭遇する疾患の画像診断を多く経験し、総合的な診療能力を培います。希望者は、先進画像を用いた研究や人工知能（AI）研究など、画像診断・放射線治療の研究を経験できます。

連携施設・関連施設等

連携施設 県立宮崎病院／都城市郡医師会病院／藤元総合病院
宮崎市郡医師会病院／宮崎江南病院

関連施設 都城健康サービスセンター

週間スケジュール

＜ある専攻医の一週間の研修例＞

曜日	午 前	午 後	夕 方
月	CT当番 病棟業務	MRI当番	症例レビュー
火	CT当番 病棟業務	MRI当番	症例レビュー
水	IVR 病棟業務	IVR	症例レビュー
木	IVR 病棟業務	医局会・勉強会 病棟カンファレンス	症例レビュー 救急カンファレンス
金	CT当番 病棟業務	MRI当番	症例レビュー

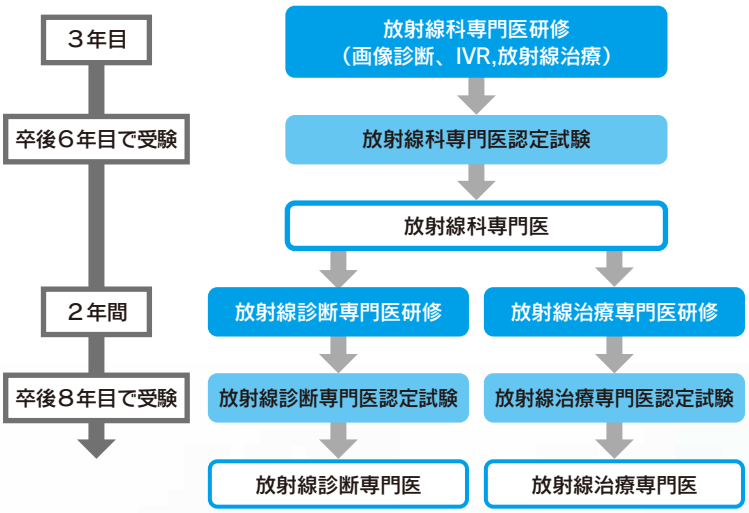
画像診断（CT・MRI）、IVR,核医学、放射線治療の研修を網羅的に行います

ローテーション例

研修コース　本人の希望で決定します
A：大学病院での研修を中心としたコース
B：大学病院で基礎的な研修をしたのち、連携施設中心に研修するコース
C：大学病院・連携施設での研修と博士号取得を同時に目指すコース

	1年目	2年目	3年目
A	大学病院	大学病院	連携施設
B	大学病院	連携施設	連携施設
C	大学病院 （臨床・大学院）	大学病院 （臨床・大学院）	大学病院 （臨床・大学院）

専門医取得までのタイムスケジュール



取得可能な専門医資格等

放射線科専門医／放射線診断専門医／放射線治療専門医／核医学専門医
PET核医学認定医／IVR専門医／マンモグラフィ読影認定医／がん治療認定医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
10名

研修期間
4年

宮崎大学医学部附属病院

麻酔科専門研修プログラム

プログラム責任者
麻酔科・教授
恒吉 勇男 医師

TEL.0985-85-9357
E-Mail kenjiro_ishiyama@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/masui/

責任者メッセージ

当医局は、麻酔科としてプロフェッショナルになることはもちろんですが、そのために家庭生活がおろそかになるような不合理は認めません。家庭あってのお仕事です。仕事の満足度、収入、家庭に奉仕する時間、それらをバランスよく得られるように最大限配慮しています。

プログラムの特徴

九州各県の代表的な研修施設と連携し、幅の広い研修を積むことができます。

もちろん、宮崎大学でも豊富な症例がありますので、立派な麻酔科医に成長することは確約します。４年目に専門医を受験します。集中治療やペインクリニックなども研修できます。

取得可能な専門医資格等

麻酔科専門医／集中治療専門医／ペインクリニック専門医
緩和ケア専門医／区域麻酔専門医／老年麻酔専門医
心臓血管麻酔専門医／小児麻酔専門医

連携施設・関連施設等

連携施設Ａ

県内　県立宮崎病院／県立延岡病院／宮崎市郡医師会病院
潤和会記念病院／地域医療機能推進機構 宮崎江南病院
国立病院機構 都城医療センター／都城市郡医師会病院

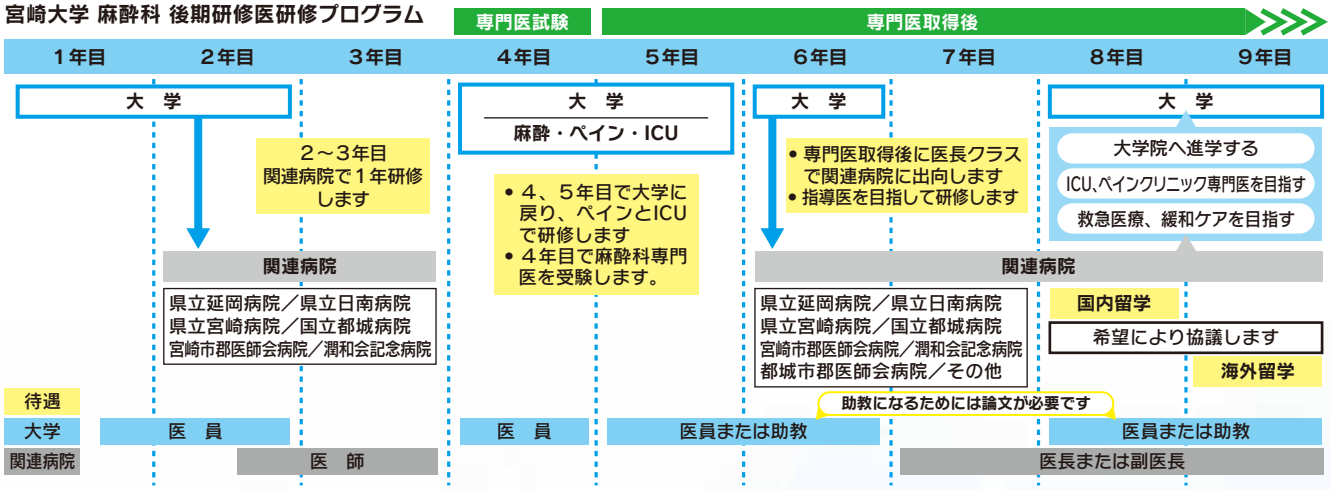
県外　（兵庫県）神戸大学附属病院／労働者健康安全機病院構神戸労災病院
（福岡県）産業医科大学病院／九州労災病院／北九州総合病院
JCHO九州病院／九州大学病院／九州医療センター／市立こども病院
福岡総合病院／福岡大学病院／福岡大学筑紫病院／久留米大学病院
久留米大学医療センター／大牟田市立病院／聖マリア病院
北九州市医療センター
（沖縄県）琉球大学医学部附属病院／那覇市立病院
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

連携施設Ｂ

県内　県立日南病院

県外　（福岡県）筑紫市立病院／福岡県赤十字病院／福岡東医療センター

ローテーション例



はじめの２年間は大学にて麻酔研修を行います。 基本的な麻酔症例から、２年目には食道がんや心臓手術などの高度な手術の麻酔管理を行い、麻酔全般を満遍なくこなすことで、麻酔科医として一通り完成します。その後１～２年は関連病院に出向し、緊急手術をはじめとして第一線で様々な症例を経験することで、独り立ちできる自信を身に着けます。４～５年目は、大学にてペインクリニックや集中治療を研修する傍ら、麻酔科専門医試験を受験します。その後は、麻酔の指導医を目指して麻酔を極めるなり、集中治療やペインクリニックの専門医を目指します。また大学院に入学し、学位取得を目指して研究に勤しむこともできます。その先には、夢の海外留学も待っています。

週間スケジュール

宮崎大学での麻酔ローテーションの例

	月	火	水	木	金	土	日
AM	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休 み	休 み
PM	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休 み	休 み
当直			当 直				当 直

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **2名**

研修期間 **3年**

宮崎大学医学部附属病院

病理専門研修プログラム

プログラム責任者
病理診断科・科長
佐藤 勇一郎 医師
TEL.0985-85-2809 FAX.0985-85-2809
E-Mail yuichiro_sato@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pathology/

責任者メッセージ

宮崎大学附属病院病理診断科では、全科・全領域にわたり、病理診断をしています。指導医とマンツーマンで、マクロ・ミクロの病理標本をみながら、基礎的な標本の見方から希少症例や難しい症例の診断まで経験することができます。病理解剖も執刀医として行い、全身臓器の病理所見、さらに患者様の全体像をとらえる重要なトレーニングがつめます。宮崎県内の連携施設、病理医との関係が強く、連携施設での研修も可能です。学会活動や研究も積極的に行っており、日本病理学会や九州沖縄支部スライドカンファレンスにも参加、発表、論文発表も行っています。

プログラムの特徴

1. 全領域にわたる豊富な症例を指導医とともに経験できる。
2. 各診療科とのカンファレンスがおこなえる。
3. 執刀医として病理解剖を行い、全身臓器に精通できる。
4. 宮崎県内全ての病理医から指導が可能で、連携施設での研修も可能。
5. 病理学会、九州・沖縄支部スライドカンファレンスにも積極的に参加、発表、論文作製も行える。

連携施設・関連施設等

○ 連携施設１群

複数の常勤病理専門指導医と豊富な症例を有しており、
専攻医が所属し十分な教育を行える施設

県内 県立宮崎病院／宮崎市郡医師会病院

県外 防衛医科大学校病院（埼玉県）
公益財団法人 がん研究会有明病院（東京都）

○ 連携施設２群

常勤病理専門指導医がおり、診断の指導が行える施設

県立延岡病院／県立日南病院／潤和会記念病院／宮崎善仁会病院

○ 連携施設３群

病理指導医が常勤していないが、基幹病院から
定期的に指導医が派遣されている施設

古賀総合病院／地域医療機能推進機構 宮崎江南病院
都城市郡医師会病院／国立病院機構 都城医療センター／藤元総合病院

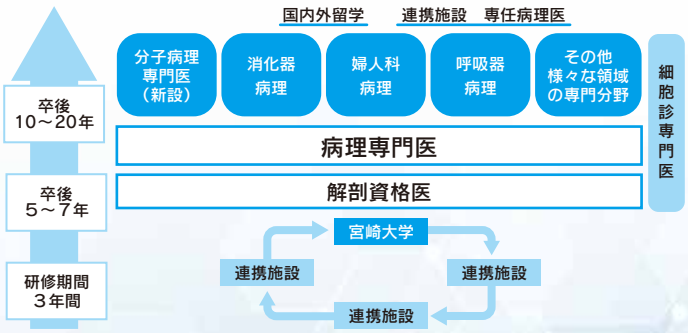
取得可能な専門医資格等

- 病理専門医：病理解剖、生検、術中、手術材料の病理診断、細胞診断が早く正確な診断が行える。
- 解剖資格医：解剖を安全にかつ正確に行える技能を身につける。
- 細胞診専門医：細胞診断を正確に行い、細胞診技師を指導できる。
- 分子病理専門医（新規）：分子病理に精通、病理検体の管理・提供、遺伝子解析が行える。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
AM	産婦人科合同カンファレンス	外　科カンファレンス	産婦人科術前カンファレンス	神経放射線病理カンファレンス	解剖症例肉眼チェック
PM	頭頸部カンファレンス（隔週）	泌尿器科カンファレンス（隔週）	骨髄生検カンファレンス	外科病理抄読会	
当直	呼吸器カンファレンス（隔週）	腎生検カンファレンス	CPC	研究検討会	

ローテーション例



本プログラムでは、宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、３年間は専門研修連携施設をローテートして病理専門医資格の取得を目指します。連携施設と併せて年間50例以上の剖検数があり、組織診断も27,000件程度あるため、病理専門医受験に必要な症例数は余裕を持って経験することが可能です。

研修終了後１年間は基幹施設または連携施設において引き続き診療に携わり、研修中に不足している内容を習得します。宮崎大学に在籍する場合には研究や教育業務にも参加していただきます。専門医資格取得後も引き続き基幹施設または連携施設において診療を続け、サブスペシャルティ領域の確立や研究の発展、あるいは指導者としての経験を積んでいただきます。本人の希望によっては留学（国内外）や連携施設の専任病理医となることも可能です。

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
1名

研修期間
3年

宮崎大学医学部附属病院

臨床検査専門研修プログラム

プログラム責任者
検査部・部長
梅北 邦彦 医師
TEL.0985-85-7284 FAX.0985-85-4709
E-Mail kunihiko_umekita@med.miyazaki-u.ac.jp

責任者メッセージ

臨床検査はEvidence Based Medicineにおける客観的な指標として、診療にかかせないものです。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。臨床検査専門医は臨床検査医学、臨床医学全般に関わる総合的な科学者と位置づけられます。この学際的な側面は、診療だけでなく研究にも参画できる能力を発揮することになります。

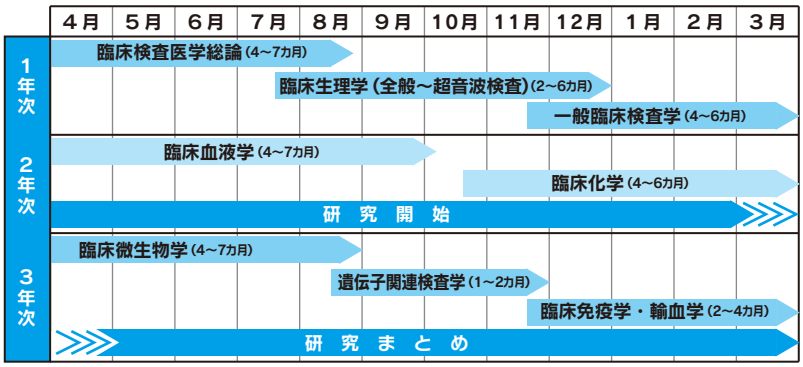
プログラムの特徴

初期臨床研修後すぐに専攻医となるのはもちろんのこと、他領域で経験を積んだ後に当該専門領域のキャリアを踏まえて、より検査診断に特化した力量と資質の習得を目指すこと（セカンドキャリア）も可能です。臨床経験豊富な他基本領域専門医取得者には、初期臨床研修修了後の専攻医と同じプログラム制の研修はそぐわないと考えられ、この場合は、カリキュラム制の研修を行うことを可能とします。カリキュラム制とは、研修の形態の詳細は問わず、到達目標を達成すれば認定試験受験資格を与えるものです。

ローテーション例

まず日本臨床検査医学会に入会していただき、プログラム制ではストレート研修、カリキュラム制では、その方の希望に応じた研修スケジュールを相談して決めます。以下はプログラム制の例です。

3年間の研修を5年かけてゆっくり研修するコースなども設計できますので、ご相談ください。



週間スケジュール

超音波検査集中研修時

時間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習
午後	超音波検査研修	超音波検査研修	超音波検査研修	超音波検査研修	超音波検査研修
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

超音波検査研修修了後

時間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習
午後	検査室研修・検体検査診断業務	検査室研修・検体検査診断業務	検査室研修・検体検査診断業務	検査室研修・検体検査診断業務	検査室研修・検体検査診断業務
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

取得可能な専門医資格等

臨床検査専門医の資格を取得できます。臨床検査専門医のSubspecialty領域は現時点ではまだ決まっていません。想定される専門医には、感染症専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、人間ドック健診専門医、消化器内視鏡専門医などがあり、どれも本研修と連続性を持った追加の研修が可能です。

募集定員 **7名**

研修期間 **3年**

宮崎大学医学部附属病院

救急科専門研修プログラム

プログラム責任者
救急科 教授
落合 秀信 医師

TEL.0985-85-9547 FAX.0985-85-9105
E-Mail takehiko_nagano@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/kyuumei/

責任者メッセージ

本プログラムは、ドクターヘリやドクターカーなどによる病院前救急診療から、ER型救急、救急集中治療、重症多発外傷、そして精神科の関連する救急医療まで幅広く研修することにより、いつでもどこでも地域のニーズやシステムに応じ即戦力となって救急医療を展開できる、“救急科の総合医”を育成することを目的としています。それと同時に、地域から世界へ情報発信できる“academic emergency physician”の育成も目的としています。

“いつでもどこでも地域に根差した高度な救急医療の提供”と“世界を視野にいれた情報発信”を合言葉に一緒に研鑽していきませんか？

プログラムの特徴

本研修プログラムは、重篤な多発外傷、内因性疾患、特殊な中毒疾患、重症熱傷等について、初期治療から集中治療まで継続して診療し、重症患者の初期対応や全身管理について学ぶことができます。また、ドクターヘリ、ドクターカー等の病院前救急診療や災害医療を学ぶ体制も充実しています。救急初療室を忠実に再現したシミュレーション室や病院前救急診療の研修に特化した救急車カットモデルを有しており、教育体制についても整備されています。

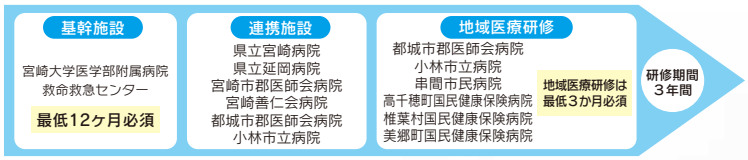
連携施設・関連施設等

連携施設 県立宮崎病院／宮崎善仁会病院／都城市郡医師会病院
県立延岡病院／宮崎市郡医師会病院／小林市立病院

関連施設 高千穂町国民健康保険病院／椎葉村国民健康保険病院
美郷町国民健康保険西郷病院／串間市民病院

ローテーション例

原則として、３年間の研修期間中、基幹施設での研修期間を最低12カ月必須とし、連携施設である県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎善仁会病院、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、小林市立病院のいずれかでの研修を３～６か月必須とします。地域医療の研修として、小林市立病院、都城市郡医師会病院、串間市民病院、高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院のいずれかでの研修を最低３カ月必須とします。残りの期間については専攻医の希望を尊重しつつ、地域の救急医療体制を鑑みたスケジュールで研修を行います。



取得可能な専門医資格等

救急科専門医を取得することができます。救急科領域の専門研修中における、研修プログラムで示した集中治療領域の専門研修に関しては、サブスペシャルティ領域の集中治療専門医修練としてみなすことができます。他にもサブスペシャルティ領域として、感染症専門医、熱傷専門医、外傷専門医、脳卒中専門医、消化器内視鏡専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、脳神経外傷専門医、透析専門医への連続的な育成が配慮されます。その他、ICLSやJATEC、JPTECなど救急系教育コースのインストラクターを目指して頂きます。

週間スケジュール

曜日	午　前	午　後	夕　方
月	診療科カンファレンス チーム回診	入院患者診療	
	※		
火	診療科カンファレンス 教授回診 チーム回診	入院患者診療	
	※		
水	診療科カンファレンス 勉強会（抄読会、レクチャー症例検討等）	入院患者診療	専攻医勉強会 シミュレーション教育（月２回程度）
	※		
木	休　暇	当直・ドクターカーによる診療（※月５回程度のシフト制）	放射線科合同カンファレンス（週１回）
金	診療科カンファレンス 教授回診 チーム回診	休　暇	
	※		
土	診療科カンファレンス チーム回診	入院患者診療	
	※		
日	休日（月５回）		

※ 救急外来診療、ドクターヘリによる診療（※月４～５回の当番）

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
2名

研修期間
3年

宮崎県立宮崎病院

救急科専門研修プログラム

プログラム責任者
救命救急科 主任部長
雨田 立憲 医師

TEL.0985-24-4181 FAX.0985-28-1881
E-Mail miyazaki-hp@pref.miyazaki.lg.jp
https://www.kenritsu-miyazakibyouin.jp/training/program/emergency/

責任者メッセージ

救急医療では、医の倫理に基づき、急病、外傷、中毒など疾病の種類に関わらず、救急搬送患者を中心に、速やかに受け入れて初期診療にあたり、必要に応じて他科と連携し、迅速かつ安全に診断・診療を進められる救急科専門医の存在が不可欠です。本プログラムでは宮崎大学医学部附属病院救急センターを始めとした県内各救急医療機関で豊富な症例・疾患を経験することができ、救急科専門医に求められるコンピテンシーを修得することが可能です。本プログラムでは、専門研修を通して「地域住民に救急医療へのアクセスを保障し、良質で安全な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することを目的としています。

プログラムの特徴

基幹施設である宮崎県立宮崎病院は、県内有数の救急搬送数を誇り、令和３年度からは新病院移設に伴い、Dr.Heriの搬入も開始しました。また、三次救急医療機関として断らない救急医療を掲げ、地域の一次、二次救急医療機関と連携し、宮崎の医療を支えています。宮崎県立宮崎病院では、「救急総合診療センター」の形態をとっており、総合診療科を始めとした他科専門医・コメディカルスタッフとの連携の下、病態がはっきりしない患者へのアプローチにも強くなることができます。

連携施設・関連施設等

県内 宮崎大学医学部附属病院／県立延岡病院／高千穂町国保病院
椎葉村国保病院／美郷町国保西郷病院／宮崎市郡医師会病院
串間市民病院／都城市郡医師会病院／小林市立病院

ローテーション例

専攻医A

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	宮崎県立宮崎病院											
2年目	連携施設A											
3年目	連携施設B						連携施設C					

専攻医B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	宮崎県立宮崎病院											
2年目	連携施設D						連携施設E					
3年目	連携施設F						連携施設G					

週間スケジュール

曜日	AM	PM	
月	ICU 申し送り Dr.Car ブリーフィング 病棟回診 救急外来診察 Dr.Car による診療	Dr.Car デブリーフィング 救急外来診療 Dr.Car による診療	当直（3～4回程度／月）
火	ミニレクチャー ICU 申し送り Dr.Car ブリーフィング 病棟回診 救急外来診察 Dr.Car による診療	救急外来診療 Dr.Car による診療	
水	ICU 申し送り Dr.Car ブリーフィング 病棟回診 救急外来診察 Dr.Car による診療	Dr.Car デブリーフィング 救急外来診療 Dr.Car による診療	
木	ICU 申し送り Dr.Car ブリーフィング 病棟回診 救急外来診察 Dr.Car による診療	Dr.Car デブリーフィング 救急外来診療 Dr.Car による診療	
金	総診合同カンファ ICU 申し送り Dr.Car ブリーフィング 病棟回診 救急外来診察 Dr.Car による診療	Dr.Car デブリーフィング 救急外来診療 Dr.Car による診療	
土･日	回診当番（月数回程度） オンコール（月数回程度）		

取得可能な専門医資格等

救急科専門医／集中治療専門医／感染症専門医／熱傷専門医／外傷専門医
脳卒中専門医／消化器内視鏡専門医／日本脳神経血管内治療学会専門医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **2名**

研修期間 **4年**

宮崎大学医学部附属病院

形成外科専門研修プログラム

プログラム責任者
形成外科 病院教授
伊東　大 医師

TEL.0985-85-9786 FAX.0985-85-9788
E-Mail hiroshi_itou@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/info-field/field-4/

責任者メッセージ

宮崎県には形成外科専門医も指導医も足りません。

2021年度から当科を基幹施設とした研修プログラムで、後期研修医募集を開始しました。宮崎江南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構災害医療センターが連携施設です。

また、東京女子医大病院と鹿児島市立病院とプログラム連携しています。

充実したプログラムおよび充足した症例数を有し、指導医のもと実りある後期研修医生活を送れるようスタッフ一同日々努力しております。少しでも興味があり、やる気のある方、お待ちしております。

プログラムの特徴

形成外科専門医となるために経験すべき全ての疾患を経験でき、より難易度が高く稀な疾患・病態に対する治療頻度が高いのが特徴です。

1　包括的な体表外科：先天異常、外傷、腫瘍、炎症性・変性疾患など豊富な症例数を有しています。

2　多種多彩な創傷に対する外科的治療：開頭術後の難治性潰瘍、開胸術後の縦隔炎、開腹術後の創離開など、多種多彩な手術創の修復に関わっています。

3　微小血管吻合技術を用いた再建手術：頭頸部再建、乳房再建、四肢再建など各種再建において遊離組織移植術を行い、良好な治療成績を得ています。

4　熱傷治療施設としての地域貢献：救命救急科・皮膚科と協力し宮崎県の熱傷治療に貢献しています。

連携施設・関連施設等

県内　都城市郡医師会病院、宮崎江南病院

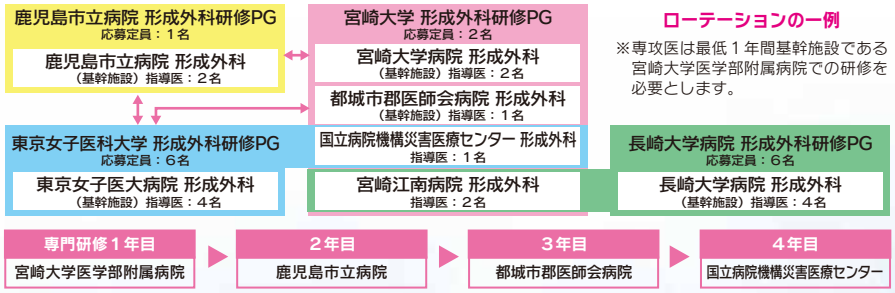
県外　国立病院機構　災害医療センター（東京都）

［他プログラムの基幹施設］東京女子医科大学（東京都）、鹿児島市立病院（鹿児島県）

ローテーション例

専門研修基幹

本研修プログラムでは宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、３つの連携施設、及び２つの他プログラムの基幹施設とともに病院施設群を構成しています。施設群で育成することの意義は、各施設によって分野や症例数が異なるため、専攻医が専門研修カリキュラムに沿って十分に研修を行うことです。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。このことは、専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。施設群における研修の順序や期間等については、専攻医を中心に考え個々の形成外科専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、研修プログラム管理委員会が決定します。



ローテーションの一例

※専攻医は最低１年間基幹施設である宮崎大学医学部附属病院での研修を必要とします。

週間スケジュール

曜日	朝	午前	午後	夕方
月	モーニングカンファ	外来	外来手術	頭頸部カンファ イブニングカンファ 回診
火	モーニングカンファ	外来 中央手術	中央・外来手術	イブニングカンファ 回診
水	モーニングカンファ	中央手術	中央手術	イブニングカンファ 回診
木	モーニングカンファ	外来	外来手術	術前カンファレンス イブニングカンファ 回診
金	モーニングカンファ 外科総合カンファ 回診	中央手術	中央手術	術後カンファレンス イブニングカンファ 回診 抄読会

取得可能な専門医資格等

日本専門医機構 形成外科専門医
日本形成外科学会認定 特定分野指導医、皮膚腫瘍外科分野指導医、小児形成外科分野指導医
再建・マイクロサージャリー分野指導医／日本創傷外科学会認定 創傷外科専門医
日本頭蓋顎顔面外科学会認定 頭蓋顎顔面外科専門医／日本熱傷学会認定 熱傷専門医
日本手外科学会認定 手外科専門医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
2名

研修期間
3年

宮崎大学医学部附属病院
リハビリテーション科専門研修プログラム

プログラム責任者
リハビリテーション科 教授
荒川 英樹 医師

TEL.0985-85-0986 FAX.0985-84-2931
E-Mail rehabili@med.miyazaki-u.ac.jp
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/rehabili/

責任者メッセージ

リハビリテーション医療は、単に疾病の治療だけではなく、機能回復や社会復帰を目指す幅広い領域を含んでおり、「活動を育む」ための医療と定義されています。急性期では重症疾患も含めて入院による活動性や身体機能の低下を生じさせないこと、回復期では疾患の治療、全身管理を行いながら生活に必要な活動性や身体機能を再獲得すること、生活期では地域での在宅生活の基盤となる移動能力や生活能力を維持すること、などをシームレスに実践するwhole bodyの医療です。運動器疾患、脳血管疾患、神経疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、がん、周術期、摂食嚥下など様々な障害と、新生児から超高齢者まですべてのヒトが対象となります。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修プログラムでは、地方の立地を生かして多くの症例を経験しながら、これら要素が凝縮した研修を提供します。

プログラムの特徴

当院は宮崎県における中核的教育医療機関であり、幅広い対象疾患に専門的なリハビリテーション医療を提供することは重要な使命です。各診療科と連携をとりながら、早期から必要なリハビリテーション医療を実施します。超急性期からでも全身状態を確認し積極的な離床やリハビリテーション治療を開始します。生活期では、診療科目にとらわれず、生活の基盤となる移動能力や日常生活活動を中心としながら、幅広く診療を行います。「障害を持つ生活者」の一生涯の主治医となる人間力と臨床力を備えた医師を目指します。

連携施設・関連施設等

連携施設

県内 宮崎市立田野病院／延岡リハビリテーション病院／潤和会記念病院

県外 ちゅうざん病院

関連施設

県立こども療育センター／国立病院機構 都城医療センター
地域医療機能推進機構 宮崎江南病院／野崎東病院

ローテーション例

図に宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGの３年間のプログラム（基幹病院と連携施設のローテート）における１コース例を示します。施設は大学病院、一般病院、リハビリテーション専門病院の中から選択され、症例等で偏りの無いように、専攻医の希望を考慮して決められます。

宮崎大学医学部附属病院 → SR1 →

領域
(1) 脳血管障害・外傷性脳損傷など
(2) 外傷性脊髄損傷
(3) 運動器疾患・外傷
(4) 小児疾患
(5) 神経筋疾患
(6) 切　断
(7) 内部障害
(8) その他（廃用症候群、がん、疼痛性疾患など）

宮崎市立田野病院 → SR2 →

領域
(1) 脳血管障害・外傷性脳損傷など（回復期･維持期）
(2) 外傷性脊髄損傷
(3) 運動器疾患･外傷
(5) 神経筋疾患
(6) 切　断
(7) 内部障害

延岡リハビリテーション病院 → SR3 →

領域
(1) 脳血管障害・外傷性脳損傷など（回復期･維持期）
(2) 外傷性脊髄損傷
(3) 運動器疾患･外傷
(4) 小児疾患
(5) 神経筋疾患
(6) 切　断
(7) 内部障害

専門医試験

週間スケジュール

曜日	午　前	午　後
月	病棟カンファ リハ外来	定期ミーティング（月１回） 他科合同カンファ（月１回）
火	勉強会（月１回） 病棟カンファ リハ外来 ボトックス・嚥下外来	高次脳外来 検査・測定 疾患別カンファ
水	病棟カンファ リハ外来 検査・測定	装具外来 疾患別カンファ
木	病棟カンファ リハ外来	検査・測定 疾患別カンファ 勉強会（月１回）
金	病棟カンファ リハ外来	高次脳外来 装具外来 リハカンファ 疾患別カンファ

取得可能な専門医資格等

- リハビリテーション科専門医（日本リハビリテーション医学会認定）

宮崎大学医学部附属病院専門研修PG では、基幹施設と連携施設それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことが出来ます。

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **2名**

研修期間 **3年**

宮崎県立宮崎病院

総合診療専門研修プログラム

プログラム責任者
総合診療科医長
石井 義洋 医師
TEL.0985-24-4181 FAX.0985-24-1881
E-Mail miyazaki-hp@pref.miyazaki.lg.jp
http://kenritsu-miyazakibyouin.jp

責任者メッセージ

高齢医療、複合診療への対応、専門医の偏在、救急医療の強化などを背景に開設された科です。主な役割は、病院と地域のニーズに合わせて①ゲートキーパー（総合診療外来、救急外来からのコンサルト）、②診断未・難症例や複合疾患の対応、③専門医不足・不在領域のカバーです。内視鏡検査やカテーテル検査、癌治療などの専門的な知識や技術はありませんが、救急外来が円滑に運営できるように各科と連携をとり、複雑な症例の診断に関しては、臓器別専門医とディスカッションを行っています。また、社会的な問題に関しても多職種とカンファレンスを行って、診断～治療～退院までの最適解を提供できるように努力しています。

連携施設・関連施設等

県内　高千穂町国保病院／椎葉村国保病院
美郷町国保西郷病院／いしかわ内科
おおつか生協クリニック／串間市民病院

取得可能な専門医資格等

総合診療専門医

プログラムの特徴

宮崎県立宮崎病院は、急性期医療・高度先端医療の根幹を担っており、幅広い患者を初療から退院調整まで点でなく線として担当することができます。また、他の専門科、コメディカルスタッフとの連携により、「包括的統合アプローチ」、「診察能力」、「患者中心の医療・ケア」、「マネジメント力」、「地域志向アプローチ」、「公益に資する職業規範」、「多様な診療の場に対応する能力」という総合診療専門医に欠かせない７つの資質・能力を効果的に修得することが可能になります。

ローテーション例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	県立宮崎病院(総診Ⅱ)						連携施設Ａ(総診Ⅰ)					
2年目	県立宮崎病院(内科)											
3年目	県立宮崎病院(救急科)			県立宮崎病院(小児科)			連携施設Ｂ(総診Ⅰ)					

週間スケジュール

時　間	月	火	水	木	金
7:30～ 8:00		Journal Club	MKSAP勉強会	５分間ティーチング	救急･総診　合同カンファ
8:00～ 8:30	チーム・カンファレンス				
8:30～ 9:00	病棟回診				
9:00～13:00	病棟業務　急患対応	病棟業務　急患対応	外　来	病棟業務　急患対応	外　来
13:00～13:30	昼カンファ				All Miyazaki勉強会(Web)
13:30～14:00	症候学レクチャー、症例の振り返り、外来シミュレーションなど（１～２回／週の開催）				病棟カンファレンス
14:00～16:00	病棟業務　急患対応	病棟業務　急患対応	病棟業務　急患対応	病棟業務　急患対応	病棟業務　急患対応
16:00～17:00	チーム･カンファ　病棟回診	内科カンファ		チーム･カンファ　病棟回診	
17:00～17:30			申し送り		

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員
2名

研修期間
3年

宮崎生協病院
総合診療専門研修プログラム

プログラム責任者
副院長
三宅 知里 医師
TEL.0985-24-6877
E-Mail kensyu@miyazaki-iryou.coop
https://m-seikyouhp.com/

責任者メッセージ

当院は「人の命に差別があってはならない」という理念のもと、第１線の医療機関として、内科、外科、小児科の診療科を有し一般病床124床で、外来、病棟、在宅、健診、救急などの医療活動を展開しています。また、運営母体の宮崎医療生活協同組合は４つのクリニック（和知川原生協クリニック、おおつか生協クリニック、このはな生協クリニック、生協クリニックのべおか）、訪問看護ステーション、ホームヘルパーステーション、小規模多機能施設等の介護事業所を展開しており、当院とも積極的に連携をしています。

医療生協の組合員の医療・福祉・介護の要求に応えつつ日常診療に携わり、医療を受ける主体者である患者様、その家族、地域住民の方々の声を大切に、親切で良い医療を目指して真に地域に求められる医師を養成すること目標としています。

プログラムの特徴

当院のプログラムは診療所の医療活動を独力で担えるような力量を持つこと、各地域の一次医療機関（病院）でのプライマリケア診療を担える力量を獲得することを目的とします。その目標達成のためにCommon diseaseはもちろん、救急医療、小児疾患などの初期対応を経験していきます。また在宅医療や介護福祉、社会保障制度などを実践的に学び、地域の医療、福祉機関と協力して地域の中で医師を育てることを目指しています。各院所では一般診療だけでなく、健診や健康相談会などの保健予防活動を行っています。また地域の方々の要望を聞き、医療活動に反映することで、地域に密着した医療を実践しつつ、家庭医としての能力・力量を高めることができる、子どもからお年寄りまで、地域住民が、安心して、健康で暮らせる「まち」づくりを医療の分野で担えるプログラムです。

連携施設・関連施設等

県内 宮崎大学医学部附属病院／宮崎県立宮崎病院／古賀総合病院
宮崎善仁会病院／美郷町国民保健西郷病院
おおつか生協クリニック／和知川原生協クリニック
このはな生協クリニック

県外 奄美中央病院

ローテーション例

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	宮崎生協病院						宮崎生協病院			宮崎大学附属病院 宮崎善仁会病院		
	領域	総診Ⅱ						小児科			救　急		
2年目	施設名	県立宮崎病院・古賀総合病院											
	領域	内　科											
3年目	施設名	美郷町国民健康保険西郷病院 奄美中央病院								おおつか生協クリニック 和知川原生協クリニック このはな生協クリニック			
	領域	総診Ⅰ／その他（へき地）								総診Ⅰ			

週間スケジュール

基幹施設（宮崎生協病院）（一部のみ例示）

総診Ⅰ・Ⅱ	月	火	水	木	金	土	日
新患カンファレンス　8：00～ 8：15	■	■	■	■	■	■	
午前外来（訪問診療）8：30～12：30	■	■	■	■	■	■	
午後外来（訪問診療）13：30～16：45		■		■			
研修医カンファレンス　8：30～ 9：00	■	■		■	■	■	
午前病棟　8：30～12：30	■				■		
タカンファレンス（必要時）16：00～16：30	■	■	■	■	■		

平日当直：１回／週、土日の当直・宿直：１～２回／月、薬品学習会１～２回／月

小　児　科	月	火	水	木	金	土	日
朝カンファレンス　8：00～ 8：15	■			■			
午前外来　8：30～12：30	■	■	■	■	■	■	
午前病棟　8：30～12：30	■	■	■	■	■	■	
午後外来	■				■		
乳児健診・予防接種		■		■			

夜間外来（１～３回／週）

連携施設（おおつか生協クリニック）（和知川原生協クリニック・このはな生協クリニックの場合も同様）

総　診　Ⅰ	月	火	水	木	金	土	日
午前外来　8：30～12：00	■	■	■	■	■	■	
昼カンファレンス　12：00～12：30	■	■	■	■	■	■	
訪問診療　13：30～16：30		■		■			
在宅カンファレンス・学習会			■				

夜間外来１回／月

取得可能な専門医資格等

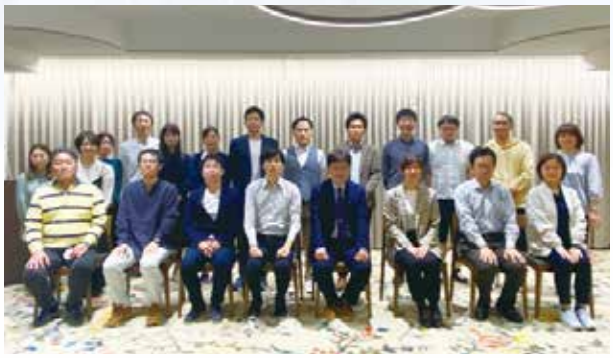
総合診療専門医

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

募集定員 **6名**

研修期間 **3年**

都農町国民健康保険病院
総合診療専門研修プログラム



プログラム責任者
地域包括ケア・総合診療医学講座・特別准教授
桐ケ谷 大淳 医師
地域医療・総合診療医学講座・教授
吉村 学 医師
TEL.0985-85-9809 FAX.0985-85-9805
E-Mail chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp
https://chiikiiryo-miyazaki.jp/

責任者メッセージ

地域で暮らす人々にとって役に立つ医師として活躍してみませんか。幅広く深い臨床能力と心優しいマインドを備え、そして様々な人々とコラボ、地域に暮らす人々の生活を支え、よりよい街づくりにも貢献できる専門医、それは総合診療医、家庭医とも呼ばれます。日本では出来たての専門医ですが、知識・技能・態度それぞれに領域別専門医とは違った専門性をもち、世界ではこうした医師こそヘルスケアの基盤を担っている重要な存在です。宮崎で、そしてオール宮崎で育てようとしています。新しいからこそ、ワクワクする道が待っています。ぜひ飛び込んできてください。全力で育成します！

プログラムの特徴

2021年度よりALL MIYAZAKI体制として宮崎県内の熱い総合診療医が揃い、バージョンアップした指導体制でプログラム運営しています。2020年４月に寄附講座の設置された都農町／都農町国民健康保険病院が基幹施設となり、大病院での病院総合医（ホスピタリスト）と中小病院での家庭医療（家庭医）という総合診療の２軸をしっかり学ぶことができます。県内外24の医療機関と連携し、県内全域での研修を強化、研修先の選択肢の幅が広がりました。特に、2024年度から県北地域をローテートする「県北コース」を新設予定です。Web会議を利用した勉強会、教育コンテンツの増強、海外専攻医（タイPSU他）との交流を行い、総合診療ならではの専門性を身につけていきます。プログラム修了後も多彩なキャリアプランを用意しています。

連携施設・関連施設等

県内 古賀総合病院／宮崎生協病院／県立宮崎病院
宮崎大学医学部附属病院／県立延岡病院
都城市郡医師会病院／高千穂町国民健康保険病院
県立日南病院／宮崎市立田野病院／小林市立病院
美郷町国民健康保険西郷病院／椎葉村国民健康保険病院
おおつか生協クリニック／和知川原生協クリニック
このはな生協クリニック／串間市民病院／西米良診療所
ホームクリニックみまた

県外 飯塚病院（福岡県）／頴田病院（福岡県）
鹿児島生協病院（鹿児島県）／国分生協病院（鹿児島県）
奄美中央病院（鹿児島県）

ローテーション例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療Ⅱ						内　科					
	古賀総合病院						県立宮崎病院					
2年目	内　科						救　急			小　児		
	県立宮崎病院						県立宮崎病院			宮崎生協病院		
3年目	総合診療Ⅱ						総合診療Ⅰ					
	宮崎生協病院						都農町国民健康保険病院					

ローテーション例【県北コース】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	小児科			救急科			総合診療Ⅱ					
	県立延岡病院											
2年目	内　科						総合診療Ⅱ					
	高千穂国民健康保険病院											
3年目	総合診療Ⅰ											
	美郷町国民健康保険西郷病院						都農町国民健康保険病院					

取得可能な専門医資格等

総合診療専門医／新・家庭医療専門医／在宅医療専門医

1. 外来、救急、病棟、在宅という多様な診療の場において、全人的、包括的かつ継続的に医療を展開できる能力
2. 患者中心の医療面接から、患者を取り巻く家族、地域社会、文化などを理解するコミュニケーション能力
3. 地域のニーズに沿って、必要な医療技術を習得できる能力
4. 限られた人材、医療資源を用いて、適切な医療をスタッフと協同で行うリーダーシップ能力

詳細は二次元コードより⇒
Webサイトをご覧ください

宮崎県の取組紹介

宮崎県専門研修プログラム合同説明会を開催！

毎年７月に県内の研修医・医学生を対象とした
専門研修プログラムの合同説明会を開催しています。
当日は県内の専門研修基幹施設・診療科が集結し、研修医・医学生へ
各プログラムの情報提供を行うとともに個別相談会を実施しています！

宮崎県の臨床研修・専門研修病院を見学に来ませんか？

宮崎県では、将来の臨床研修病院・専門研修基幹施設の選択に向けて、情報収集をされる医学生や臨床研修医の方を対象として、交通費等の一部を支援しています！

支援要件

対 象 者	県 外／支援回数：年度２回まで	県 内／支援回数：年度３回まで
医学生 （４～６年生※既卒含む）	２つ以上の基幹型臨床研究病院を見学すること	宮崎市外の基幹型臨床研修病院を見学すること ※詳細は下表参照
臨床研修医	専門研修の基幹施設を見学すること	専門研修の基幹施設を見学すること

支 援 額

― 県外の医学生・臨床研修医の方 ―

区　分	居　住　地	支援額
九州	鹿児島 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分	15,000円 20,000円
中国・四国	鳥取・島根・岡山・広島・山口 徳島・香川・愛媛・高知	25,000円
近畿	滋賀・京都・大阪 兵庫・奈良・和歌山	30,000円
中部・北陸	新潟・富山・石川・福井・山梨 長野・岐阜・静岡・愛知・三重	35,000円
関東・沖縄	茨城・栃木・群馬・埼玉 千葉・東京・神奈川・沖縄	40,000円
東北・北海道	青森・岩手・宮城・秋田 山形・福島・北海道	45,000円

― 県内臨床研修医の方 ―

区　　分	支援額
都城市⇔延岡市　日南市⇔延岡市	5,000円
宮崎市⇔延岡市　都城市⇔都農町 日南市⇔都農町	4,000円
宮崎市⇔都城市　宮崎市⇔日南市	3,000円
宮崎市⇔都農町　延岡市⇔都農町	2,000円

― 県内医学生の方 ―

基幹型臨床研修病院	支援額
宮崎県立延岡病院	4,000円
宮崎県立日南病院	3,000円
藤元総合病院	3,000円

― お申込み ―

宮崎県地域医療支援機構
HPから申込みできます！

Access Map

陸路 by Car

福　岡	約３時間40分
佐　賀	約３時間50分
長　崎	約５時間00分
熊　本	約２時間50分
大　分	約３時間00分
鹿児島	約１時間40分

空路 by AIrplane

東　京	約１時間35分
名古屋	約１時間20分
大　阪	約１時間00分
福　岡	約40分
沖　縄	約１時間25分

基幹施設等連絡先一覧

宮崎大学医学部附属病院
所在地：〒889-1692 宮崎市清武町木原5200番地
連絡先：宮崎大学医学部医療人育成課
TEL:0985-85-1864 FAX:0985-85-0693
メール：senmoni@med.miyazaki-u.ac.jp

宮崎県立宮崎病院
所在地：〒880-8510 宮崎市北高松町５番30号
連絡先：事務部 医事・経営企画課 経営企画担当
TEL:0985-24-4181 FAX:0985-28-1881
メール：koizumi-shota@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県立延岡病院
所在地：〒882-0835 延岡市新小路２丁目１番10号
連絡先：事務部 医事・経営企画課 経営企画担当
TEL:0982-32-6625 FAX:0982-32-6759
メール：numaguchi-kenta@pref.miyazaki.lg.jp

社会医療法人同心会　古賀総合病院
所在地：〒880-0041 宮崎市池内町数太木1749-1
連絡先：臨床研修センター
TEL:0985-39-8888 FAX:0985-39-0067
メール：rinsho-k@kgh.or.jp

宮崎生協病院
所在地：〒880-0824 宮崎市大島町天神前1171番地
連絡先：医局秘書課 臨床研修担当
TEL:0985-24-6877 FAX:0985-29-4839
メール：kensyu@miyazaki-iryou.coop

一般財団法人弘潤会　野崎東病院
所在地：〒880-0837 宮崎市村角町高尊2105番地
連絡先：事務部 総務課
TEL:0985-28-8555 FAX:0985-28-8560
メール：kodama@koujunkai.jp

都農町国民健康保険病院
所在地：〒889-1201 児湯郡都農町大字川北5202番地
連絡先：事務室
TEL:0983-25-1031 FAX:0983-25-1032
メール：h-ohashi@tsuno-hp.jp

公益社団法人宮崎市郡医師会　宮崎市郡医師会病院
所在地：〒880-2102 宮崎市大字有田1173番地
連絡先：人事課
TEL:0985-77-9101 FAX:0985-77-9121
メール：mi-rinsyo-k@cure.or.jp

医療法人建悠会　吉田病院
所在地：〒889-0511 延岡市松原町４丁目8850番地
連絡先：事務部
TEL:0982-37-0126 FAX:0982-37-0233
メール：kenyukai@sunny.ocn.ne.jp

（お問い合わせ）
宮崎県地域医療支援機構事務局
（宮崎県福祉保健部医療政策課）
所在地：〒880-8501 宮崎市橘通東２丁目10番１号
連絡先：TEL:0985-26-7451 FAX:0985-32-4458
メール：ishishohei@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県専門研修プログラムガイドブック
宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会事務局（公益社団法人 宮崎県医師会 内）
TEL.0985-22-5118　FAX.0985-27-6550
〒880-0023　宮崎県宮崎市和知川原１丁目101